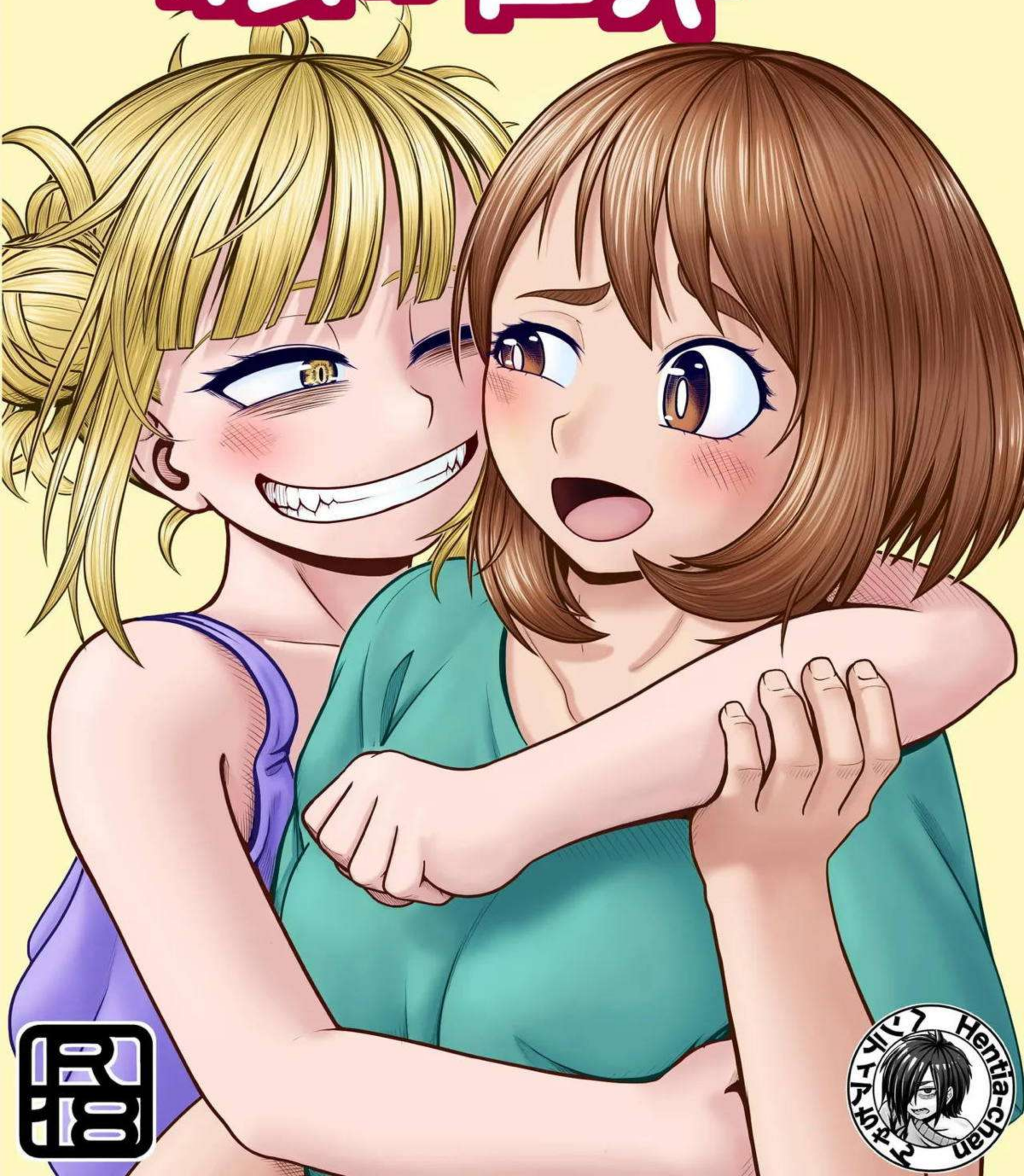


MY CUTEST 私の世界一



登場人物は全員18歳以上であり、法的に成人です。

この本は完全にフィクションです！あくまで娯楽のためのものであり、実際のアドバイスや教育的な料として誤解しないでください。

そのように考える人は、そもそもこれを読むには明らかに若すぎます。



それでも
私はトガヒミコ

好きに生きて
好きに生きた

世界一
笑顔が
カアイイ

普通の
女の子！

ブスッ

うう……

あなた……

言ってたよね……

私のいない世界なんて
考えたくないって……

はあ

はあ

……なら私だって
……同じだよ！

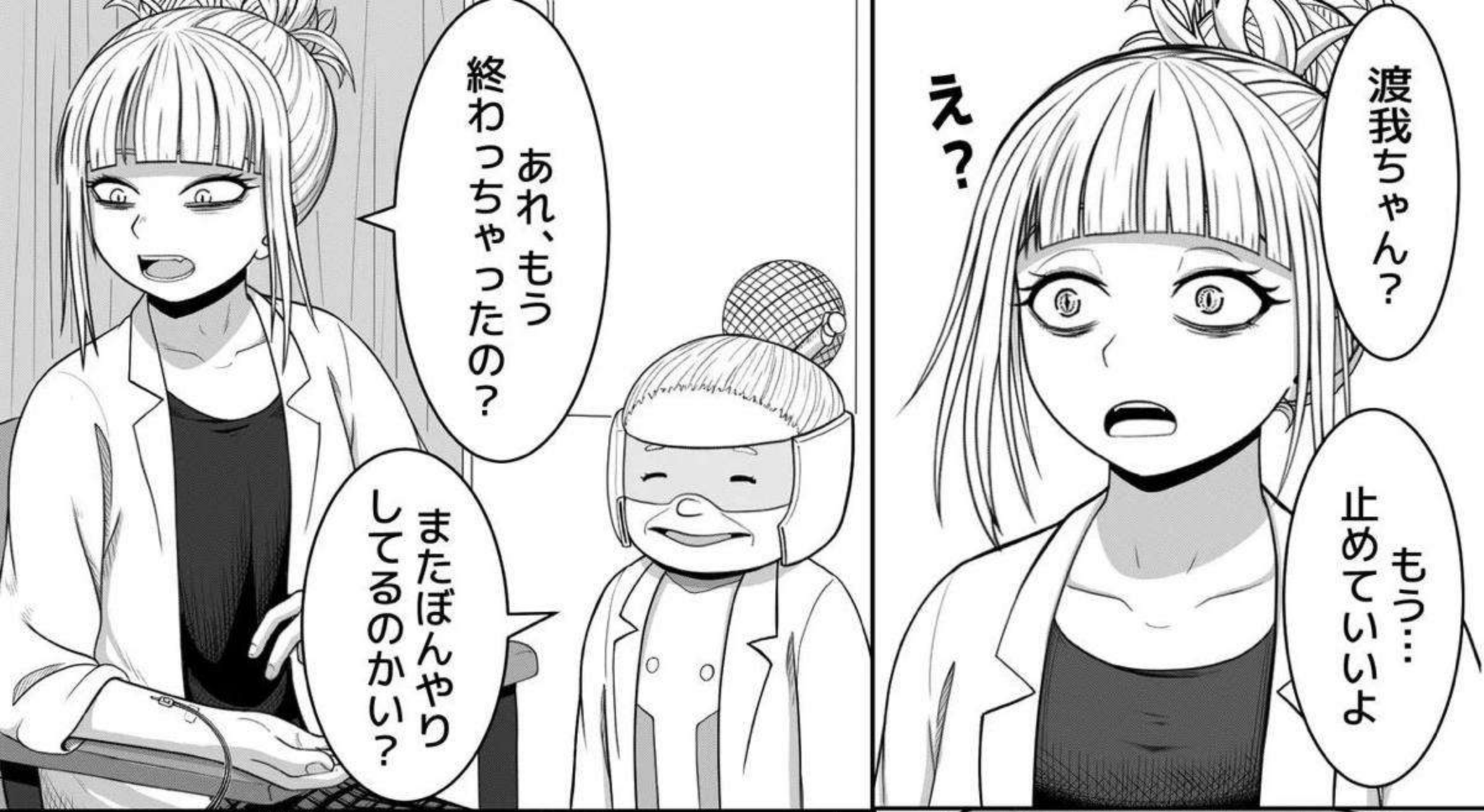
毎日……牢に行つて
血をあげる……？

そこまで……先のこと……
考えてなかったけど
それが必要なら……
私はやる！

好きに生きたいって……
好きに愛したいって
そう言ってたのに……
死んじゃったら……もう何も
できないでしょ！？

こんな残酷な世界に……
負けないで！

生きて！
トガヒミコ！



渡我ちゃん？

え？

もう…
止めていいよ

あれ、もう
終わっちゃったの？

またぼんやり
してるのかい？



あの子なら
もう大丈夫だよ

輸血のあとで
急に立つんじゃないよ

やった！
またひとつ命を
救えたね

おつかれ、
よくやったよ、私

スッ

平気平気！
もう何回もやってるもん



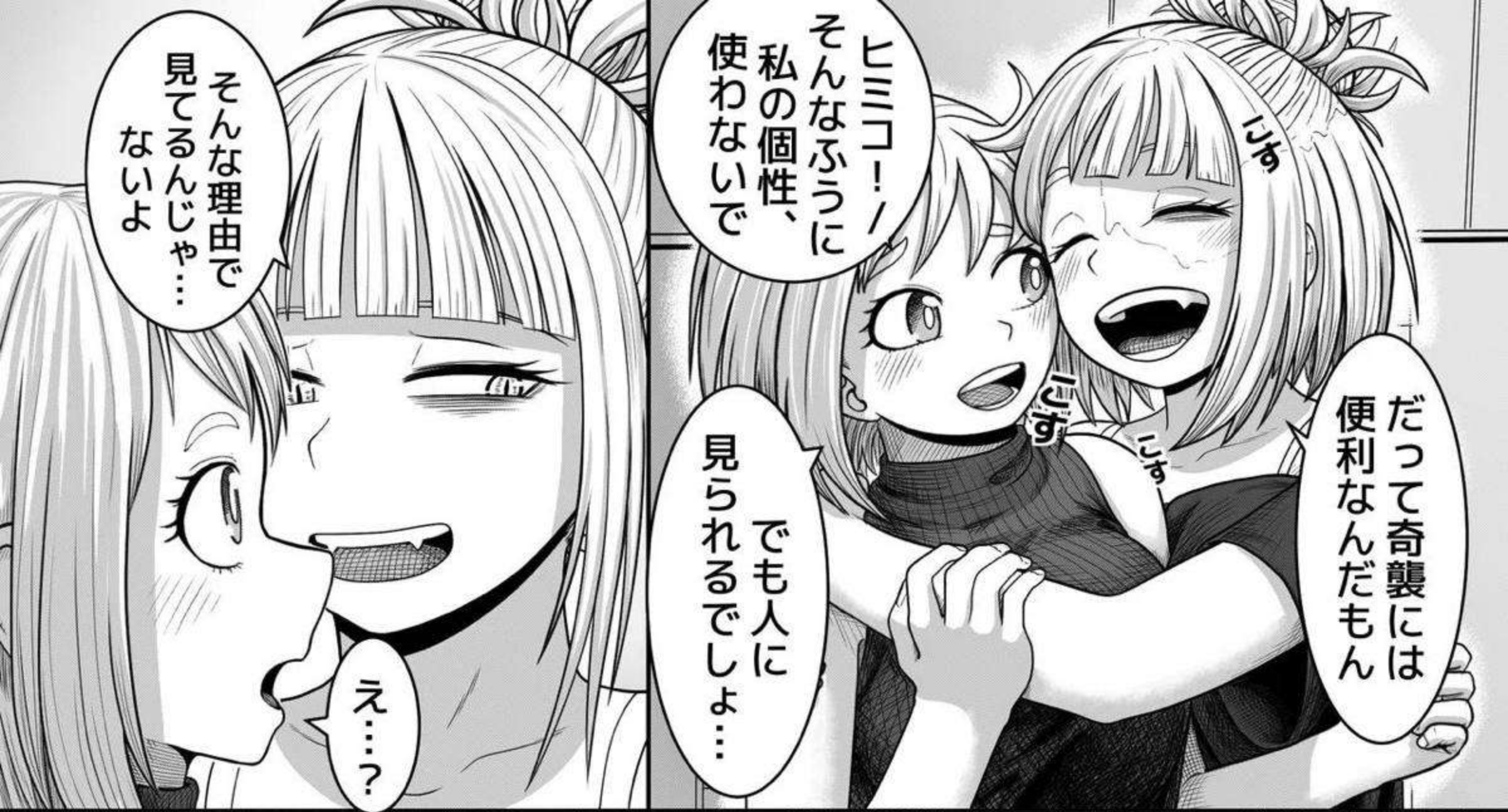
そうだねえ

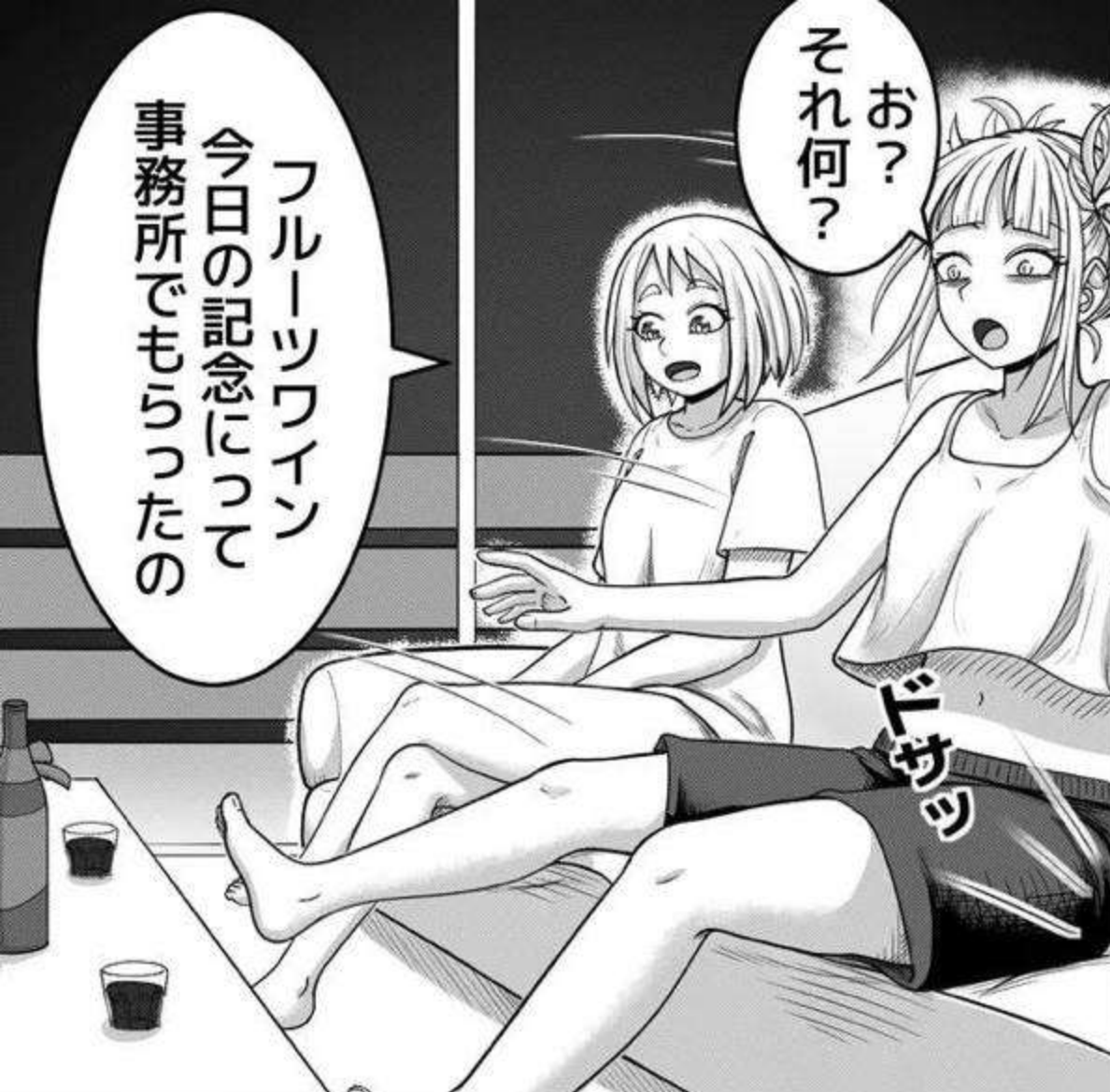
あんたはほんとに
たくさんの命を救ったよ
これからをもっと
救うんだろっねえ

もう、やめてよ
おばあちゃん

照れちゃっじゃない…！







お？
それ何？

フルーシワイン
今日の記念につて
事務所でもらったの

ドゼン



ふわあ

のびー

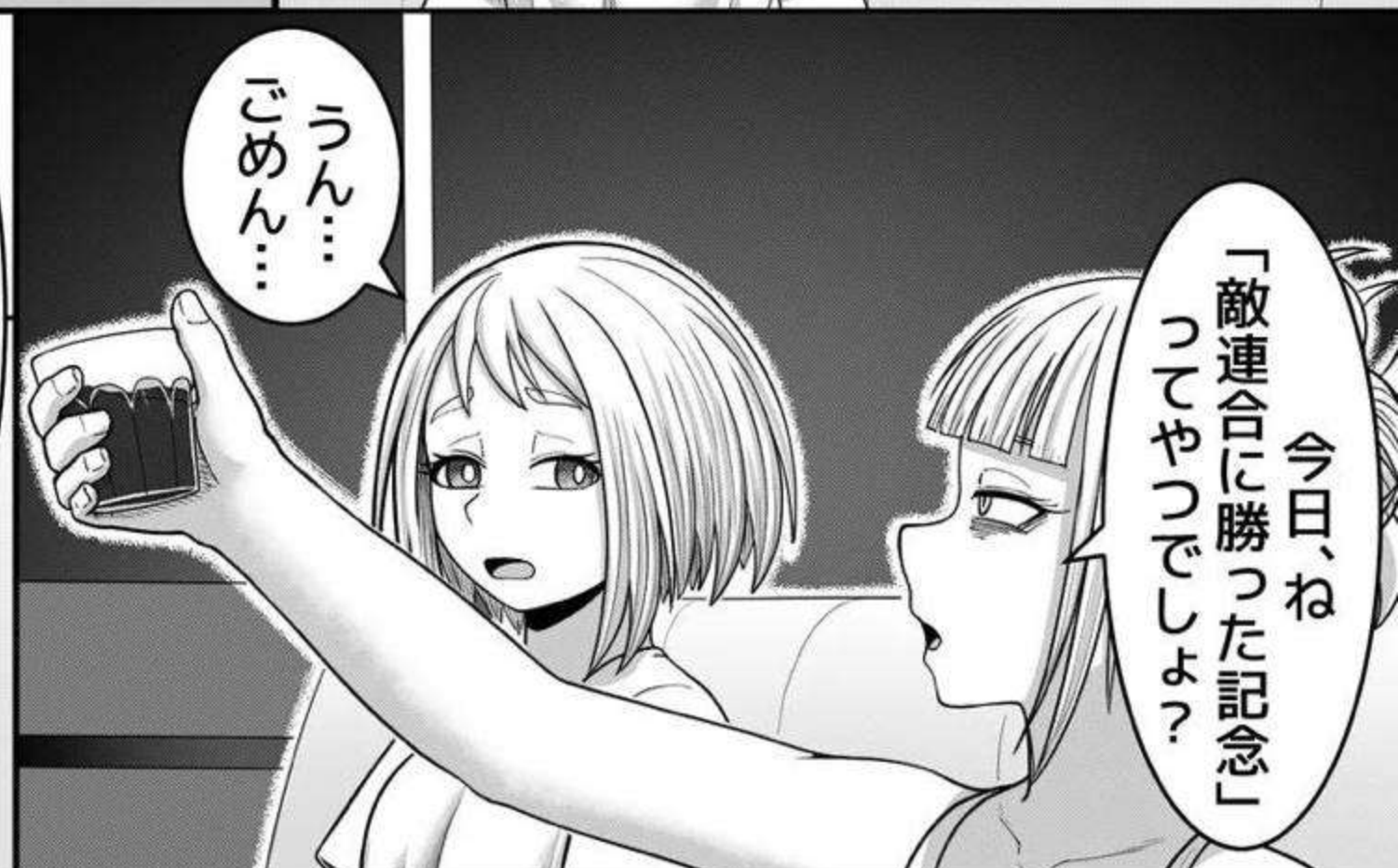
一日中外にいたら、
お風呂が一番だね…



何を謝ってるのさ？

こんなの気にして
酒を無駄にする
タイプじゃないよ、
私は

それに…



うん…
ごめん…

今日、ね
「敵連合に勝った記念」
つてやつでしょ？



世界中…いや
日本中…いや
私たちがの夢！

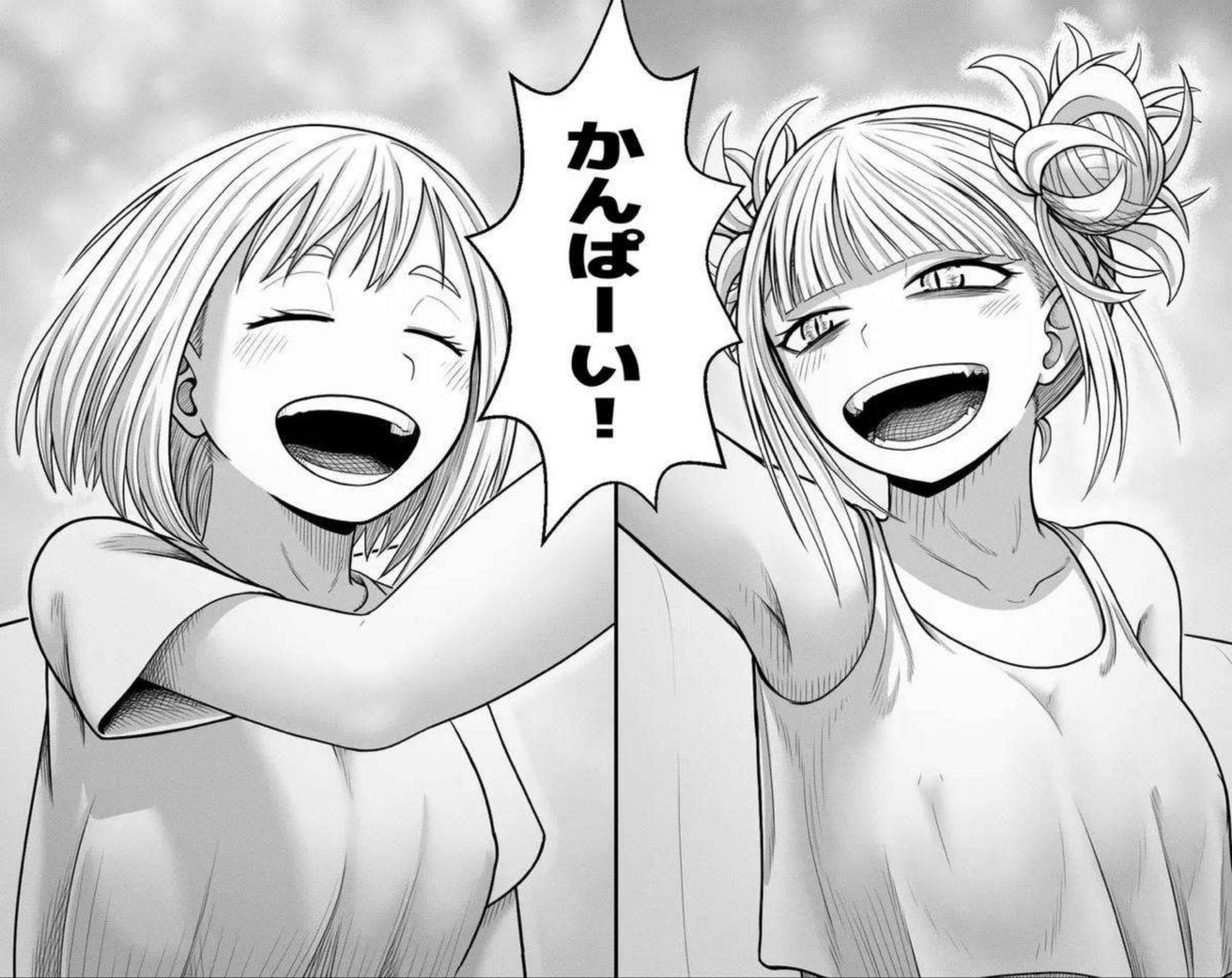
パシヤッ

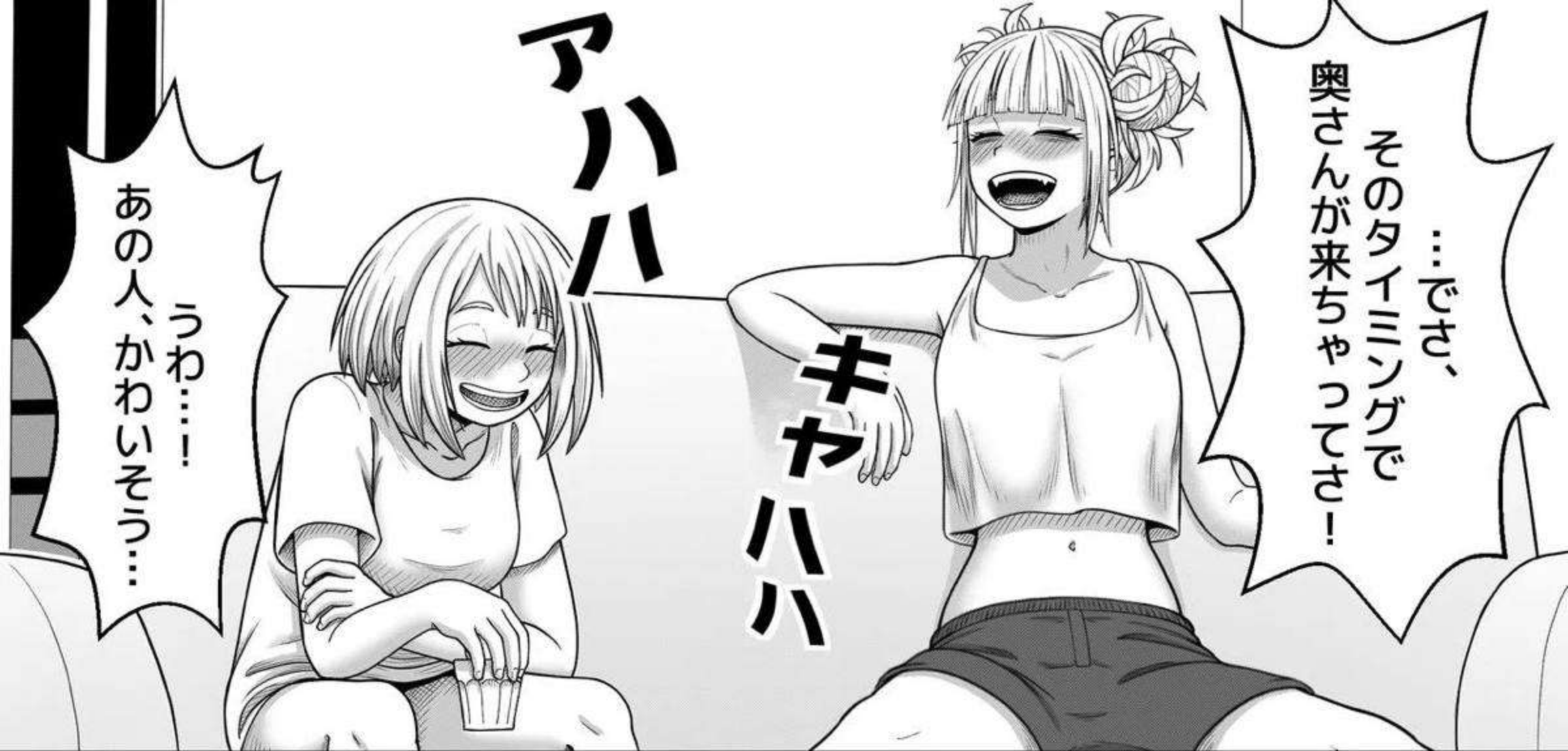
ついでに…
「私たち」にも！



今こいで
しんみりしてたら
からかわれるし

パシヤッ



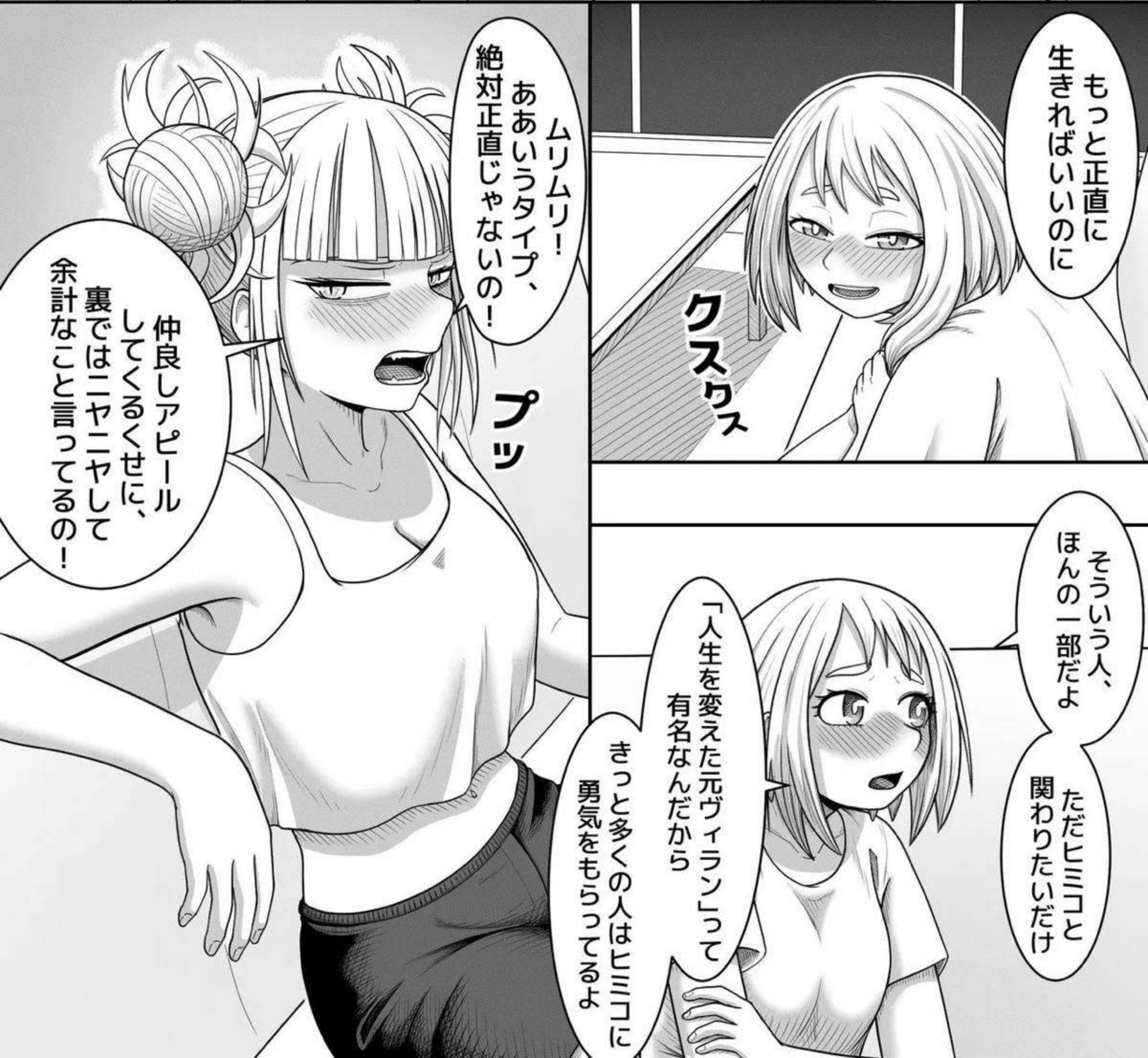


…でさ、
そのタイミングで
奥さんが来ちゃってさー！

キハハハ

アハハ

うわ……！
あの人、かわいそう……



もっと正直に
生きればいいのに

クスクス

ムリムリ！
ああいうタイプ、
絶対正直じゃないの！

プッ

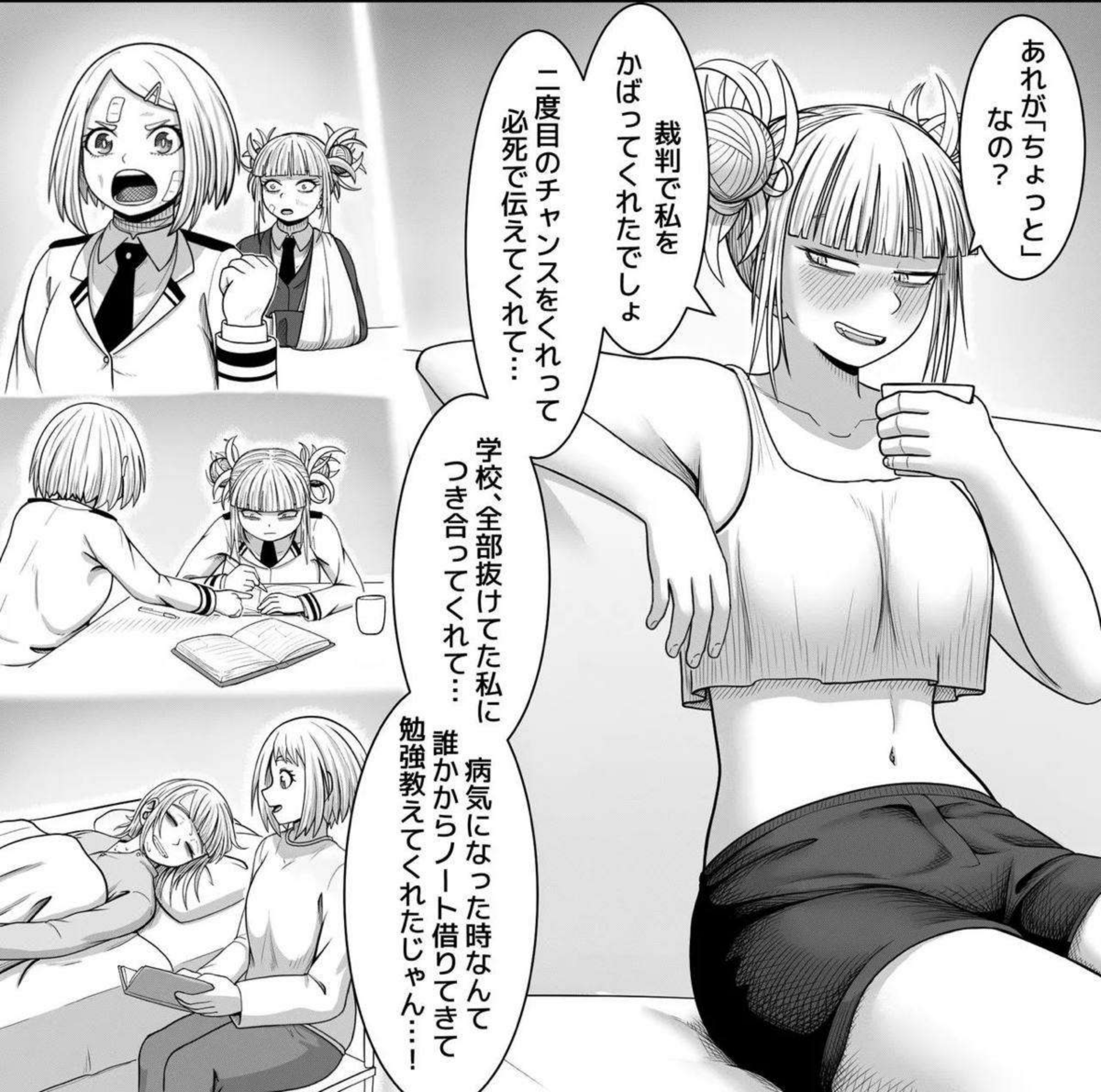
仲良しアピール
してくるくせに、
裏ではニヤニヤして
余計なこと言ってるの！

そういう人、
ほんの一部だよ

ただヒミコと
関わりたいだけ

「人生を変えた元ヴィラン」って
有名なんだから

きっと多くの人はヒミコに
勇気をもらってるよ



それで…
ローの仕事まで
続けてたんだよ？

ハハハ

すごいよ、
お茶子…！

ほんとに
すごいんだから…！

そんなふう
に
言わないで…

え…

医学を勉強して
個性の研究までして
やったのは…

トミコでしょ！

保護観察もやりとげて

今は博士号の勉強まで
して

リカバリーガールに
弟子入りまでしたんだよ？

みんなが揚げ足取ろうとしてる中で
人生をやり直したなんて

そっちのほう
が
すごいよ！

ああ、
すごいよねえ…

どんだけ人を
壊して、奪って

もう顔も名前も
まともに思い出せないくせに！

すごいのはさ…

そんな私に
チャンスなんか
くれたお人好しどもが
あまりにバカで
ただの犯罪者で
優しかっただけだ
殺しー

言わないで！

ヒミコ…

確かに
たくさん悪い事を
したよ…

でも…
それはもう
過去でしょ！

今のヒミコは
毎日毎日
必死に償って
命を救って

みんな
ちゃんと見てるよ！

私だって見てきたよ！

ヒーロー協会だって
裁判であなたを支えて

リカバリーガールも
受け入れてくれて

毎日助けてる
患者さん達も知ってる！
みんなが見てるのに…

なんでヒミコだけが
見えないの？

なんで…
自分を許せないの？



見てよ、私を！

お茶子の個性で
人を殺して！

血を飲んで！

私なんて
化け物！



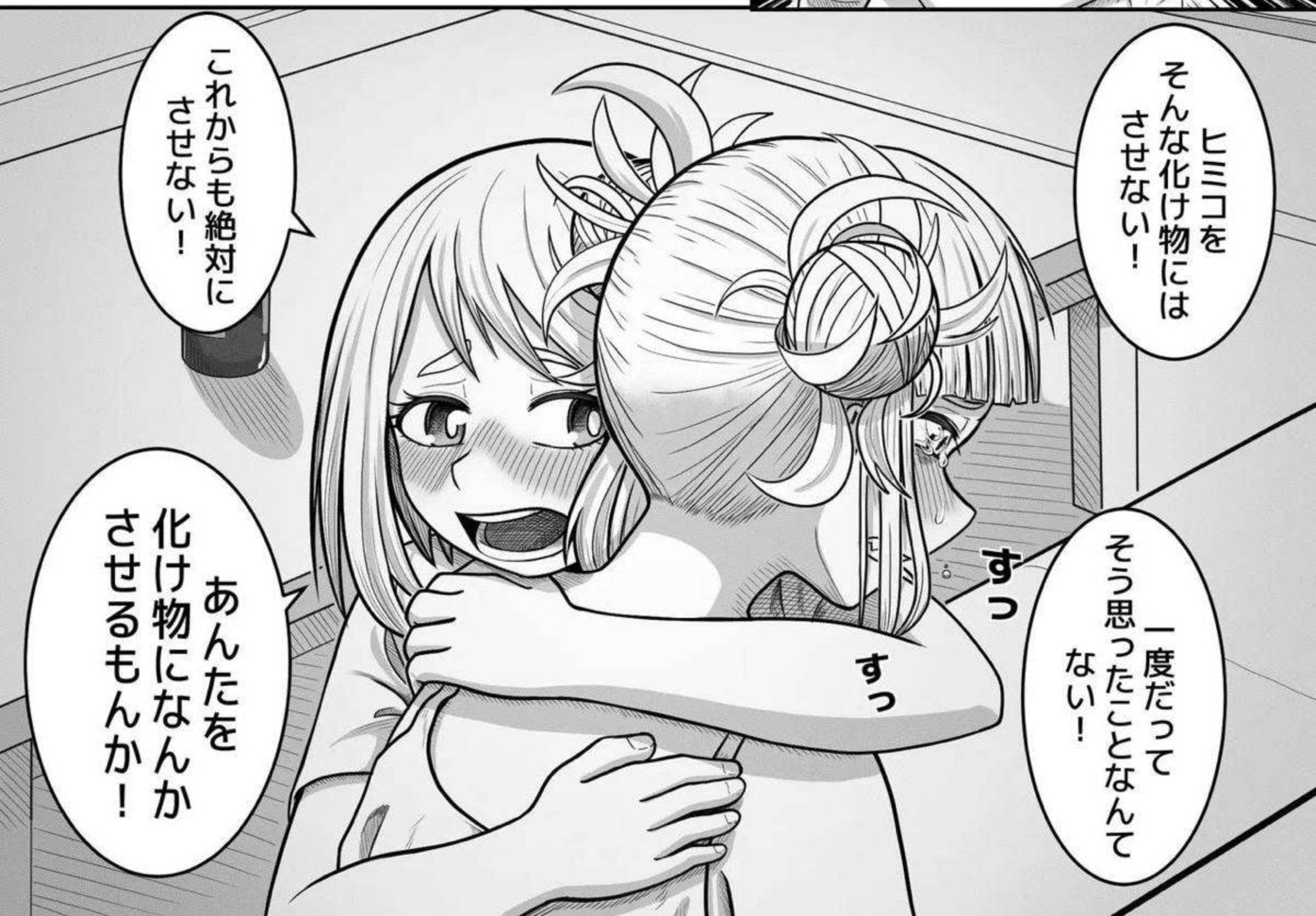
だって

そんな資格
ないんだよ！



やめて！

ガシッ



ヒミコを
そんな化け物には
させない！

一度だって
そう思ったことなんて
ない！

すっ

すっ

これから絶対
させない！

あんたを
化け物になんか
させるもんか！



なんで…？

なんでそんな
優しいの？

むぎゅっ

他の誰にも
受け入れても
うえないのに？

どうして…
どうしてお茶子だけが
そんなふう
に私を認められるの？

なのに…

すっ

すっ

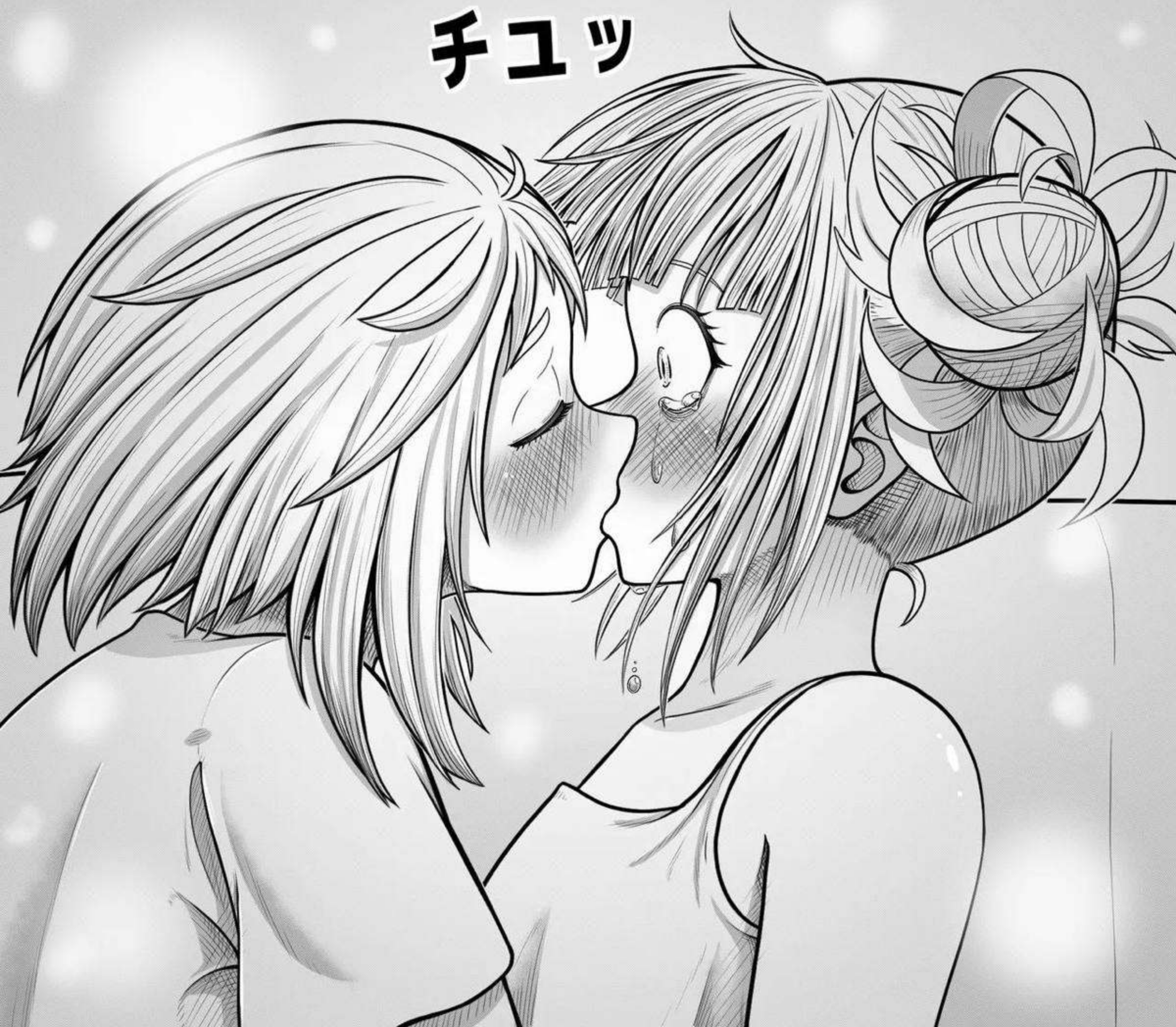


…そんなこと言われると…
馬鹿みたいに嬉しくなっちゃうの？

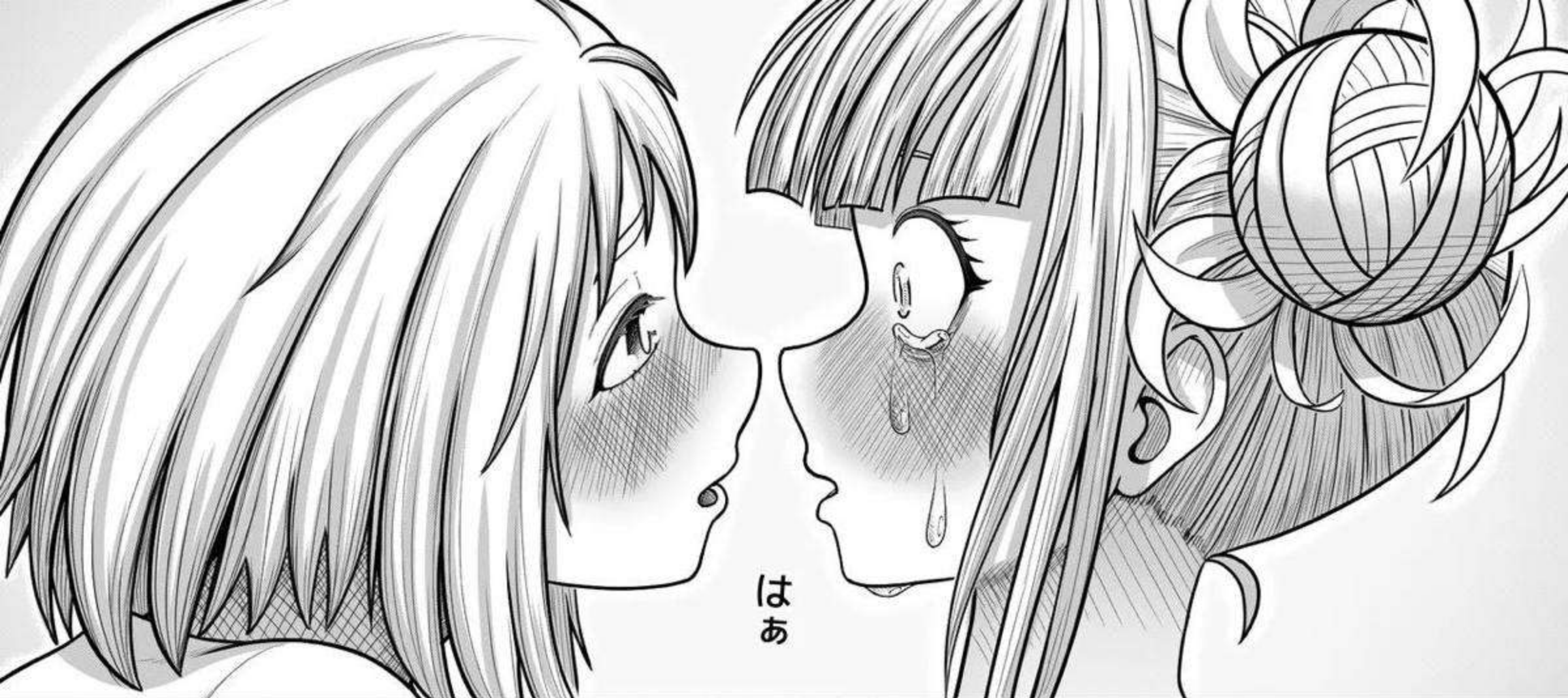
ニヤッ



ドキッ



チュッ



はあ



カァッ

あッ



ト...ジュン...!

ご...ごめ...っぜんっぜん
そんなつもりじゃっ!

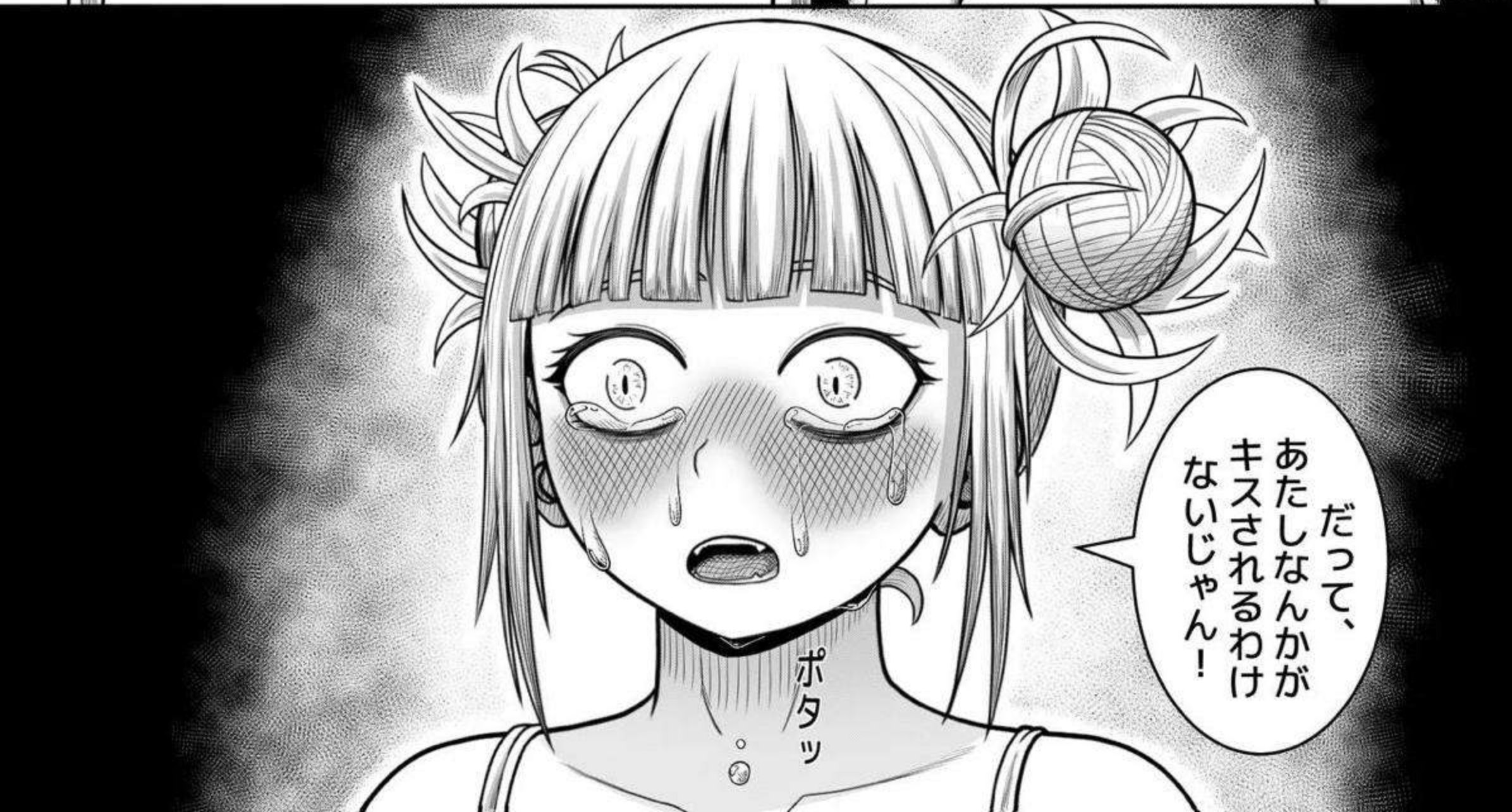
ほんとに...
ごめん!!

バタ

バタ

バタ

バタ





わたしがキスしたのは…
だって…

ちがう！
これは…夢なんかじゃない



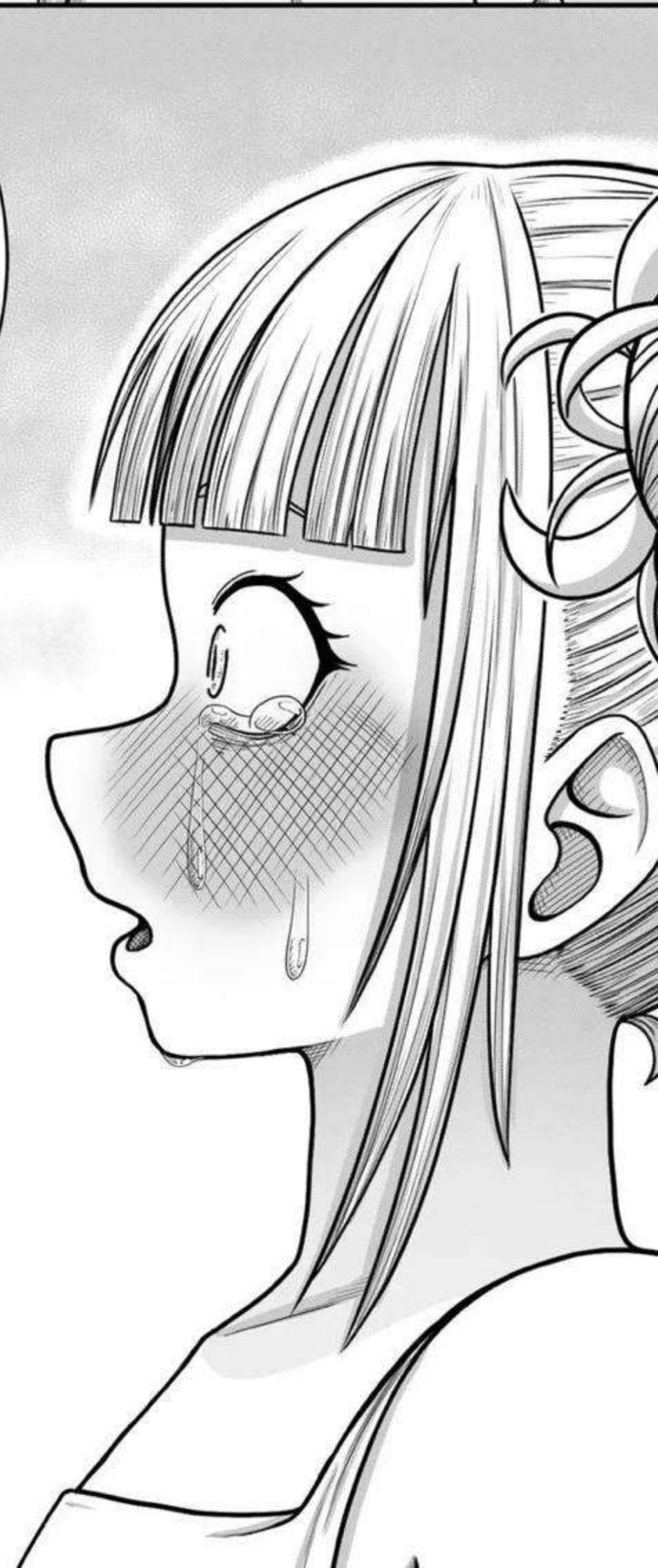
エエ…?

エエ?



だって…
ヒミコのこと、
好きだから！

あ





ドスッ

チュッ…

マジで愛してる

ハア

でも行動に移すなんて、
考えたこともなかった

だって…

おまえがあたしを
好きになってくれるなんて、
夢にも思わなかったから

この気持ちは、
ずっと本物だった

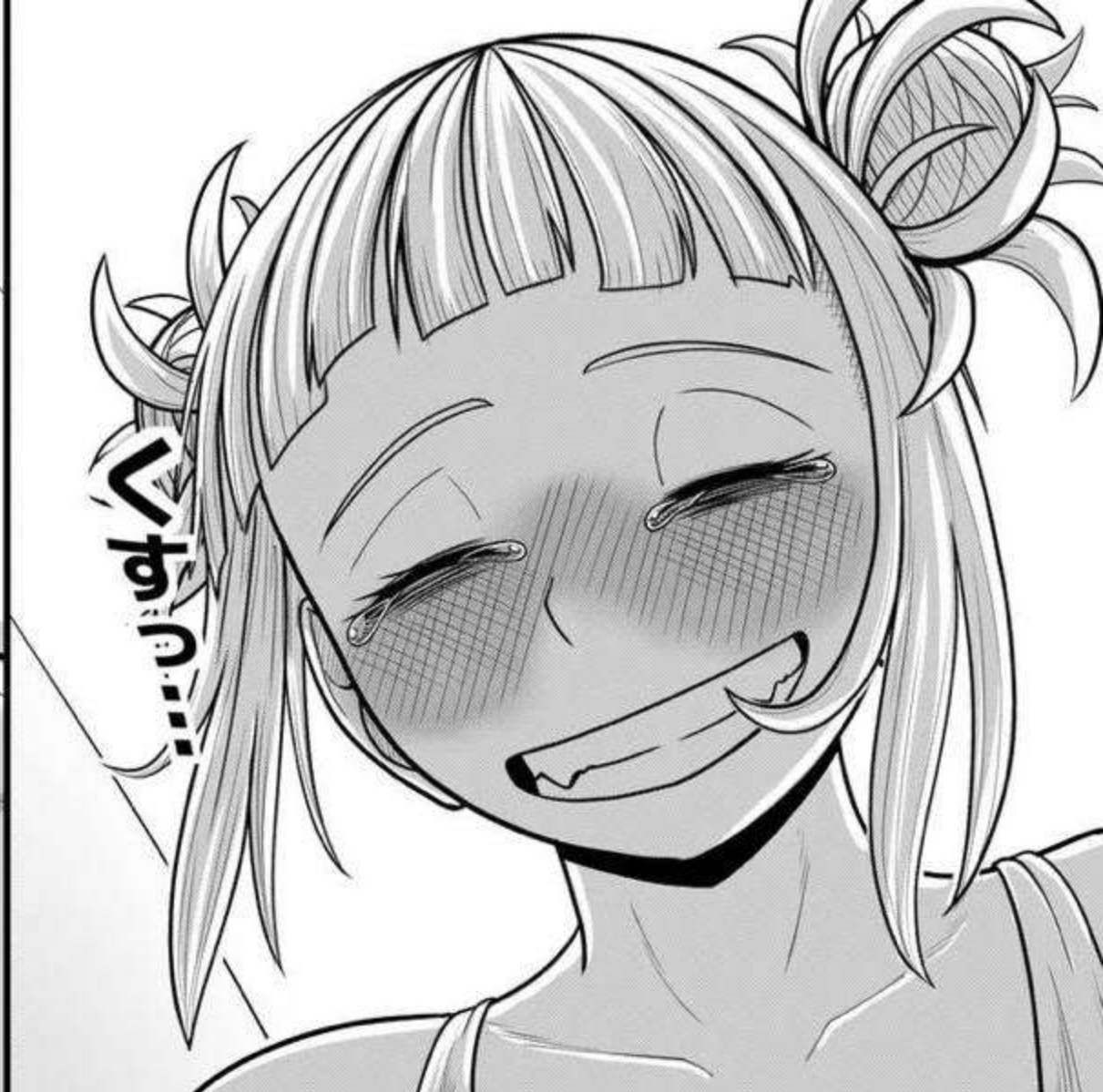
まさか本当に
あたしを愛してくれるなんて、
思ってもみなかった

ハア

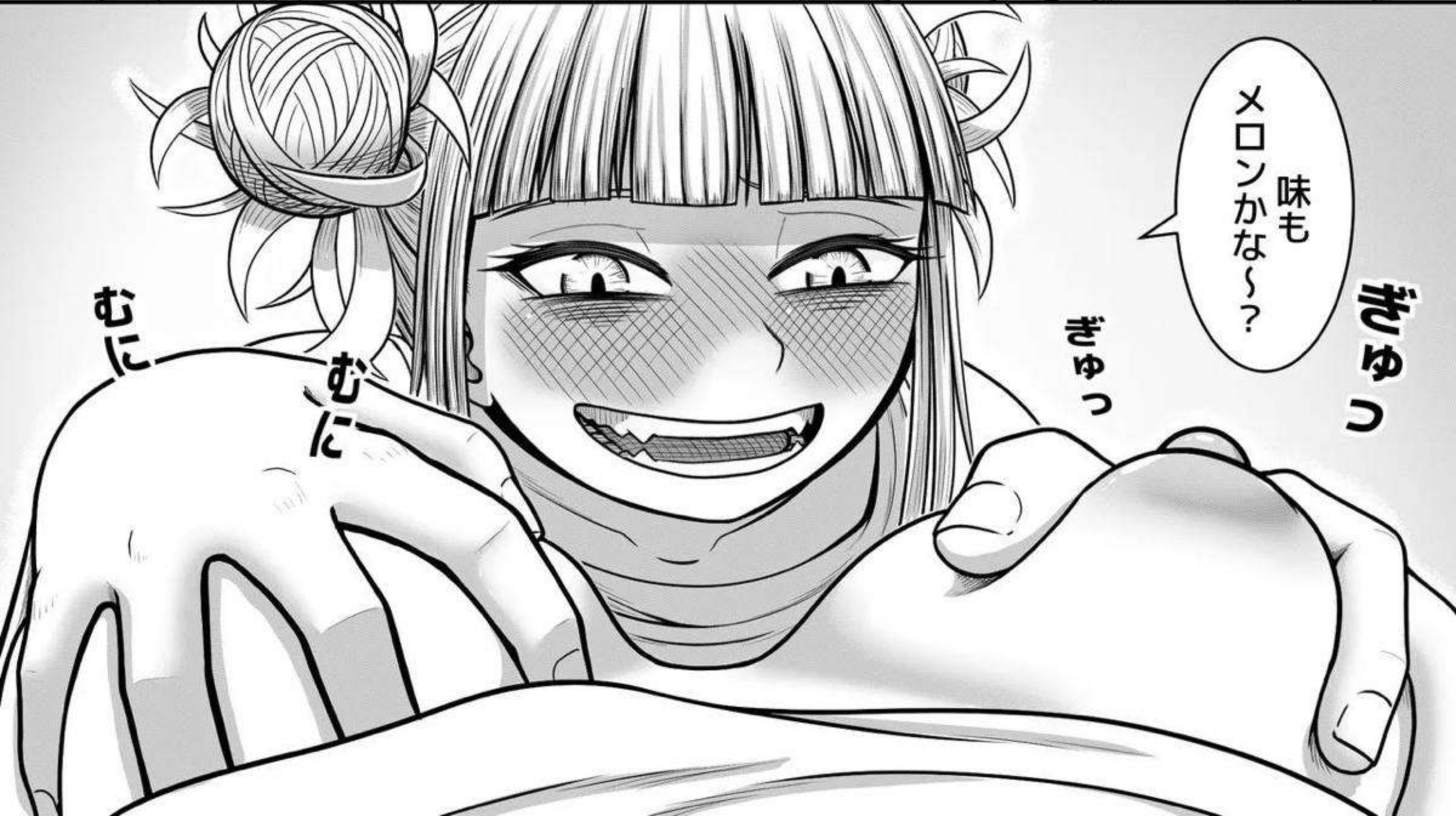
ハア

ハア











はーっ

ま…待つ！

むぎゅっ

チュッ

チュッ

ああ

言わないで！

ああ

んー、メロン味じゃない
「お茶子」の味

ぬちっ



なんでそんな…
上手なの？

あああ

チュッ

むにっ





ユミコの胸も…
すごく好きだから



ーじやっー



触つてると
ほんと楽しくて



やわらかくて
弾むんだもん



ふふっ
じゃあ、もっと
楽しも！



「こんにちは、
可愛い子ちゃん」







お茶子...
なんか
天国みたい

いつちゃったあとに
ぷかぷか浮くのって
いつもこんなに気持ちいいの？

え、えっと...
「イク」ほうは
わかんないけど浮いてるのが
こんなに気持ちいいのは
初めて



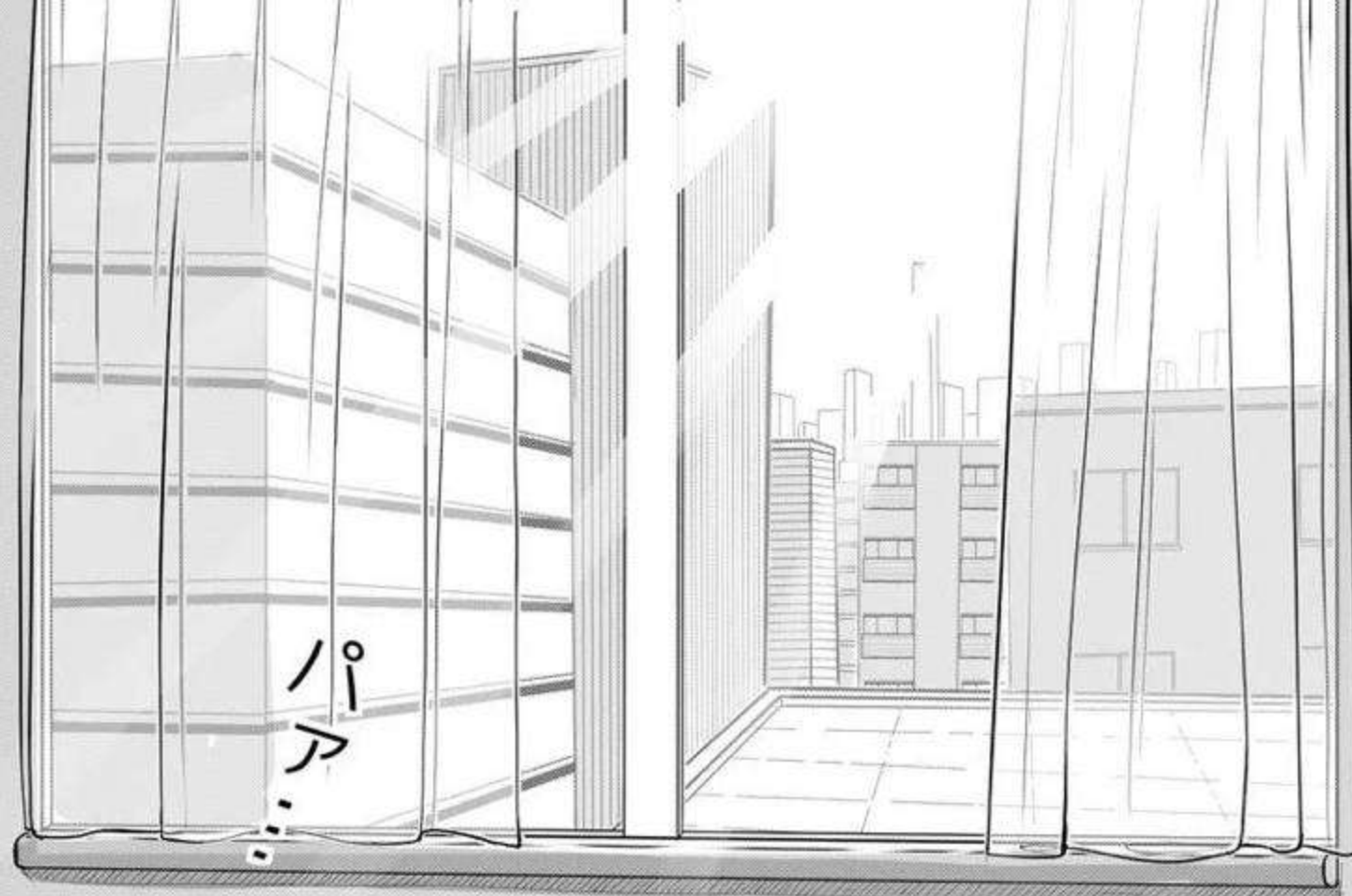
お茶子？
このまま
一緒に寝ちゃっても
いい...？

だめ...
わたし寝たら
個性が切れちゃう

そっか...
残念

じゃあせめて...
お茶子の腕の中で
寝てもいい？

...うん



み…見てたの？
私の寝顔…

ガバッ

起こしに
来ただけだよ

でもね
あんまり可愛くて
起こせなかったの

よ…よくそんなこと
平然と言えるね

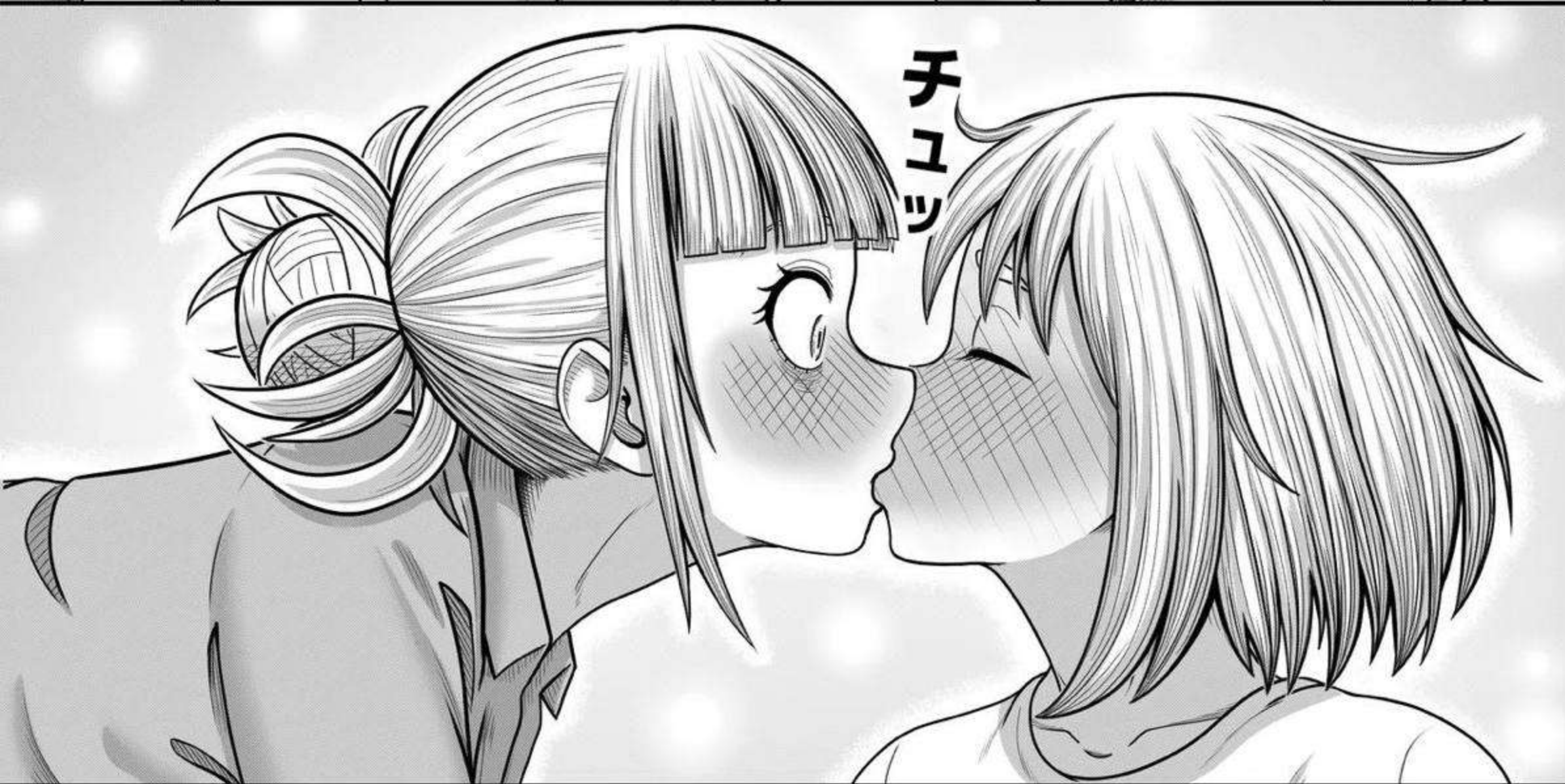
簡単だよ

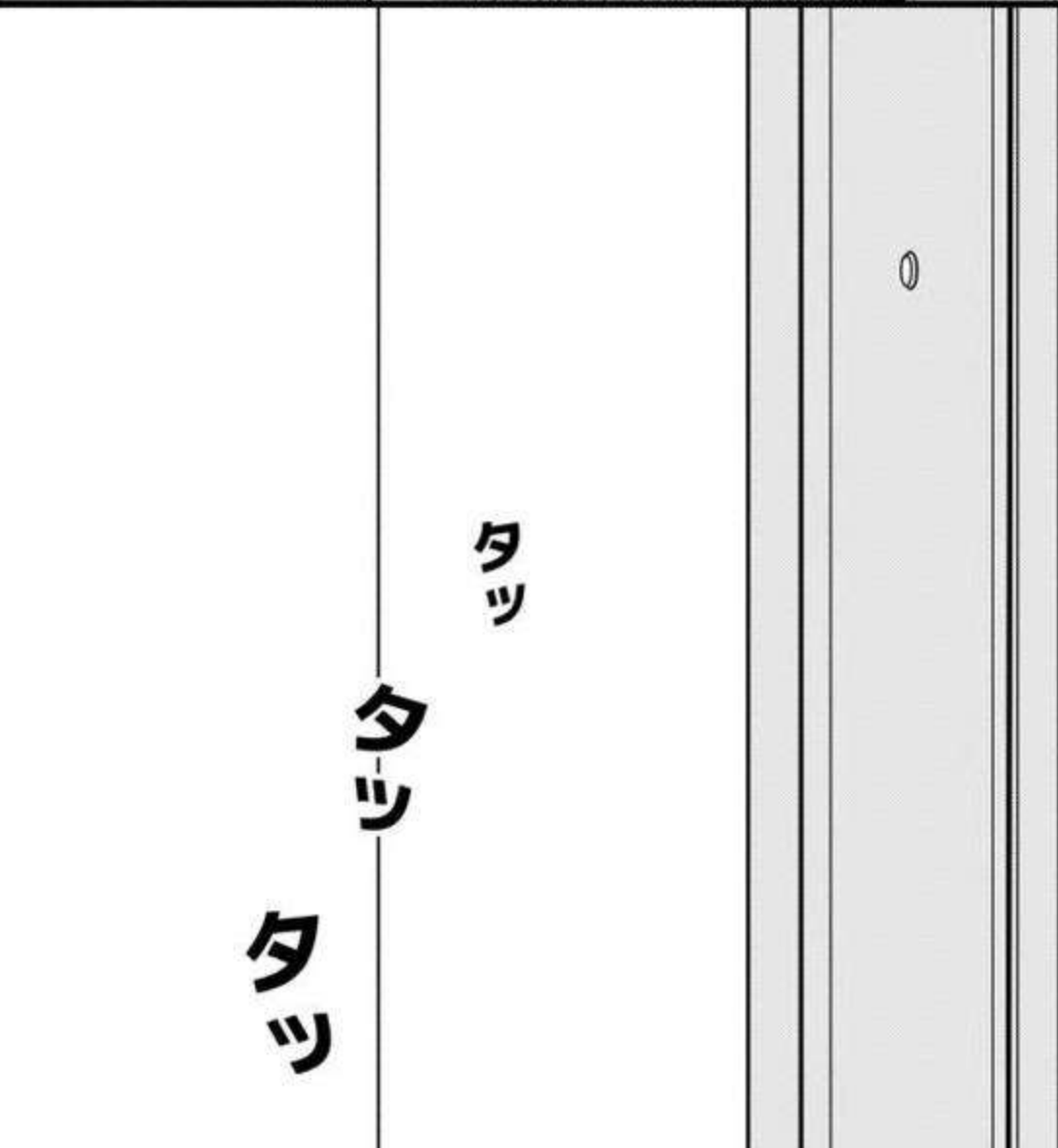
スッ

だって本気だもん

ずっと胸の奥に
溜め込んでたけど

やっと言えるようになって
すっごく楽になった
もう我慢したくないの
私のためにも
お茶子のためにも





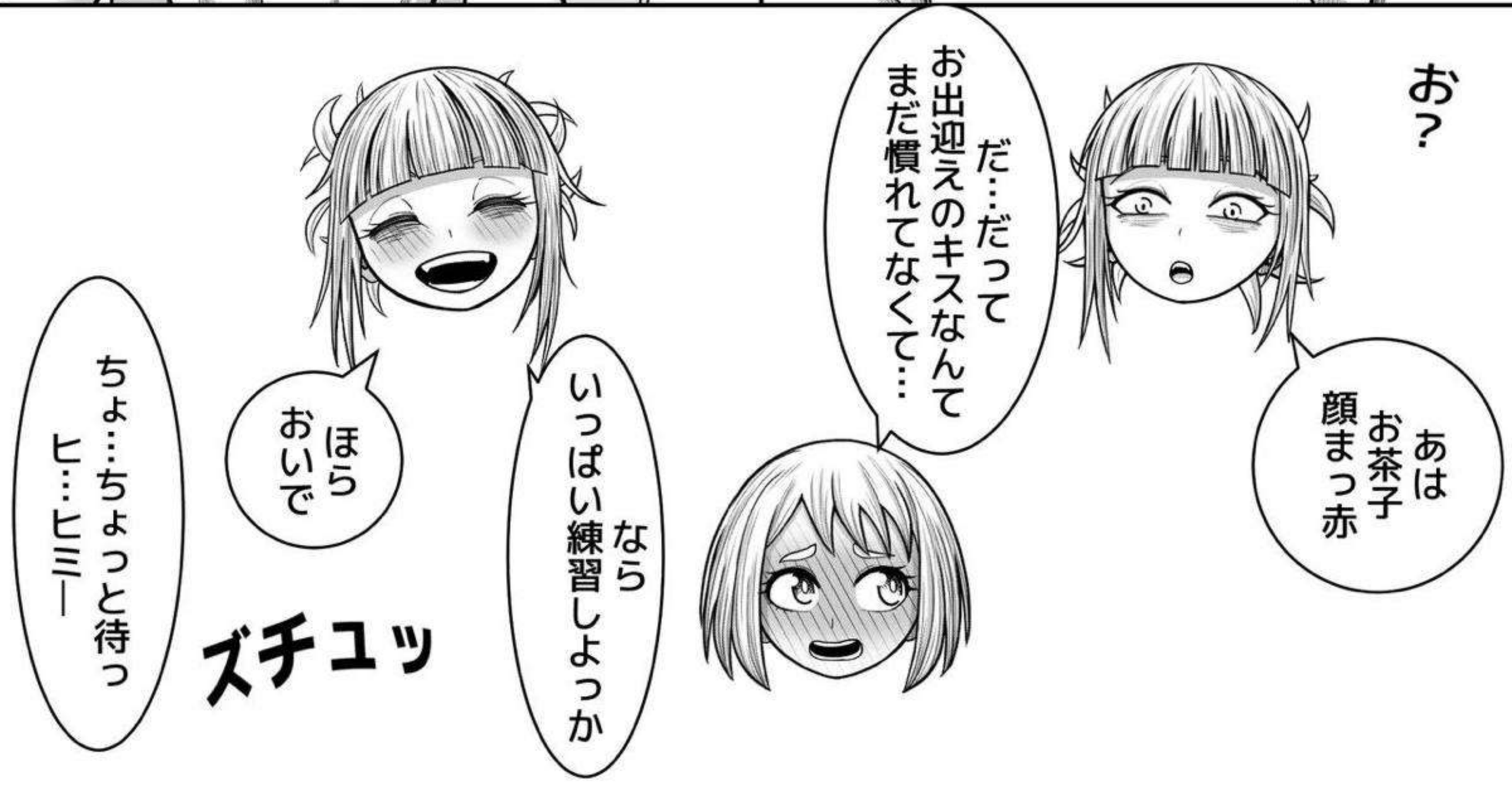
ガチャッ

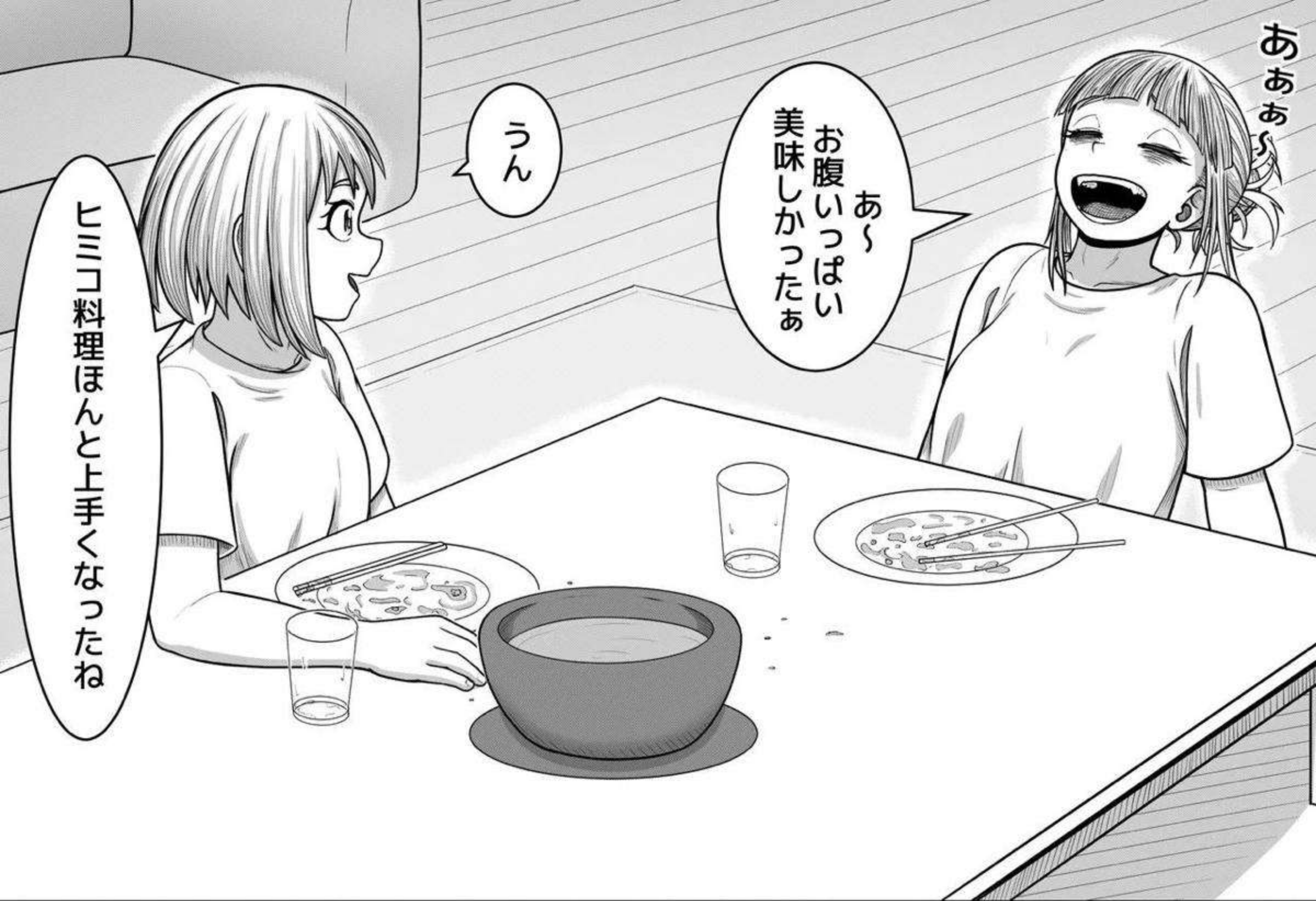
ただいま〜

タッ

タッ

タッ













あなたの血!?

でも...どうやって
ちんこにしたの?



まあ、血だけど
少し加工したんだ

ディーエヌエーをね

個性は血のディーエヌエーを
変身に使うから
ディーエヌエー

を編集すれば
個性もその通りに変わる
それで自分の血をサンプルにして



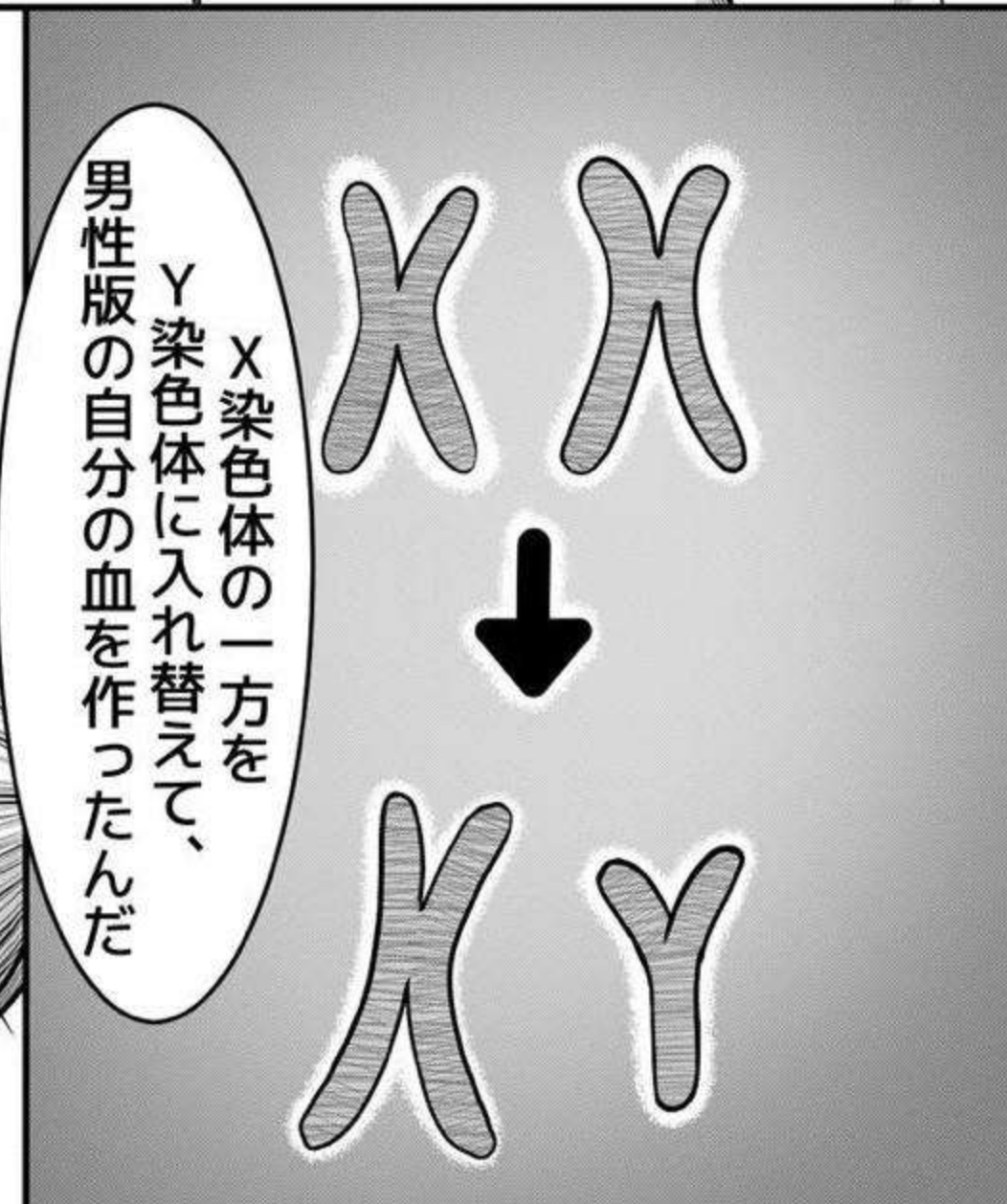
え...
そこまでやったの?
全部私のために?



バカみたいだって
わかってる

まあ、そんな感じ

やらなくても
よかったかな



X染色体の一方を
Y染色体に入れ替えて、
男性版の自分の血を作ったんだ





バカみたいだし

でも…

そんなに見なくてもいいよ

別に…



ごめん…
でも…

間近で
見たことなくて…

だから
ちゃんと見たくて



どうしてもなら
うごめ…

触りたい



手間かけてくれたし

全部お茶子のこと
考えてやってくれたの

そわ

そわ

だから
バカなんかじゃないと思う

好奇心もあるし…
触ってもいい？















あつたかすぎる……！

ああ

ジュポッ

グチュッ

はあ

ああ



お茶子……！

おおっ

ああ

すっすっ
気持ちいい……！

はあ

ズチュッ

グッ

ズチュッ

グッ



ああ

はあ

ああ

ジュポッ

ジュン

ジュン

ジュン



きもち……いい……？

はあ

ああ

うんっ……！

ジュン

ジュン

はあ

あああああう!



止まんないっ!!

おあう

どく

ぶわっ

どく

どく





ほんとに…
大きい…！

めめめ

んっ…

お茶子の中…
めっちゃきつい…！

ギュウギュウ
締めつけへん…！

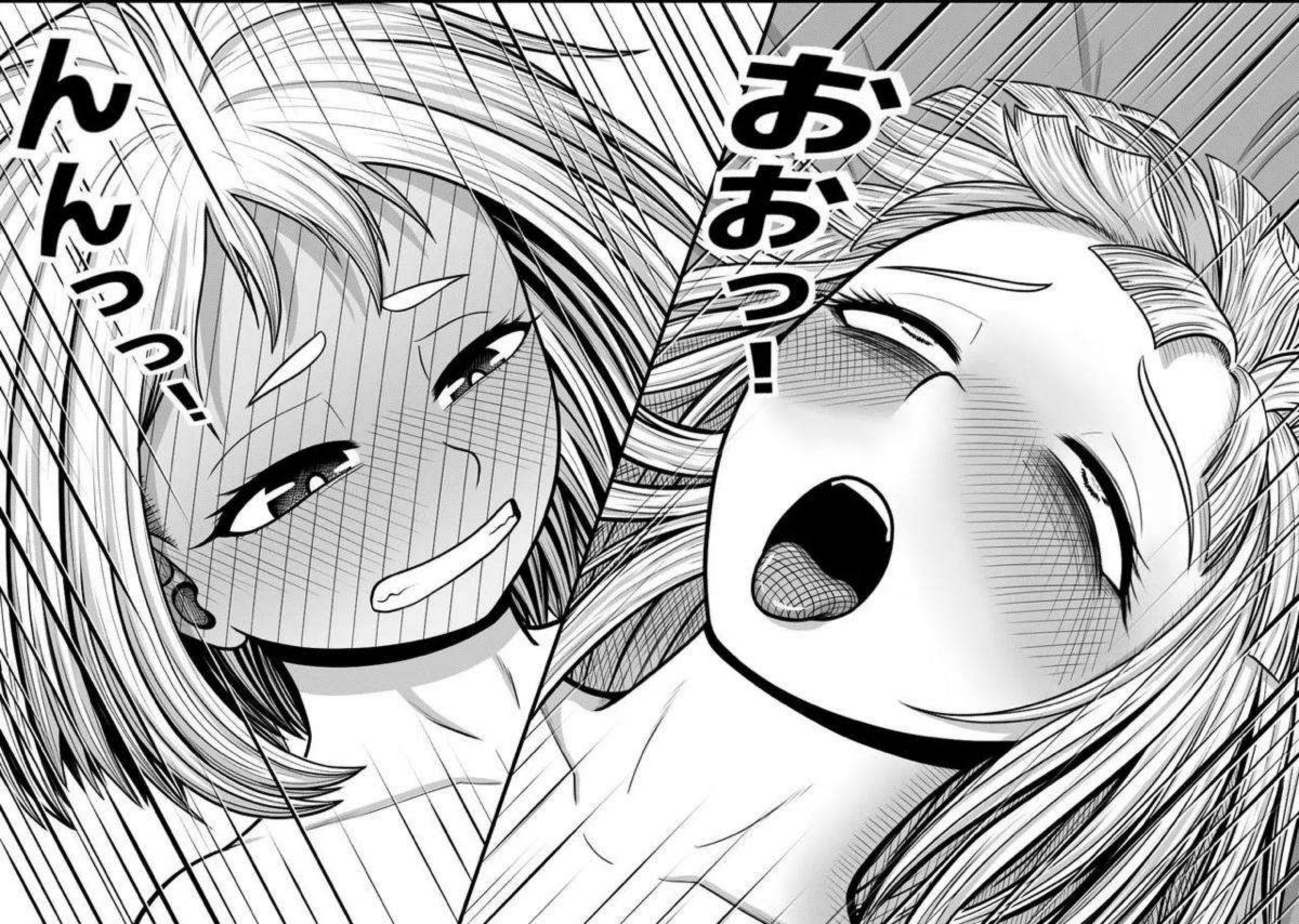
でも大丈夫…
もっと奥まで…
入れるから！

じわ…

めめめ

ビクッ

ビクッ







止まらないよー！！

はああ

ああっ

でも私…もう…
長くは持たなそう！

はああ

ポインッ

ポインッ

ズチュッ

パンッ

パンッ

ズチュッ

パンッ

パンッ

私もっ！



ああっ

パンッ

パンッ

ズチュッ

ズチュッ

ああっ

はああ

イクッ！
イクイクッ！

パンッ

パンッ

ズポッ!

はあ

ダメ...
出る...!

ああ

ああ

パンッ

パンッ

パンッ

はあ

ああ

あああ!!

イクッ!!

ドクドクッ

ズンッ

はああ!!



今回は
私がリードするから
覚悟してて

キヤーン！

バン！

その可愛いとっ、
このぶつといチンポで
めちゃくちやに犯してあげる！

…うわ、口に出す
とトロすわね…

どっど

トクン

トクン



うんっ！

チンポ、
めっちゃわかる！

ぐちゃ
ぐちゃ

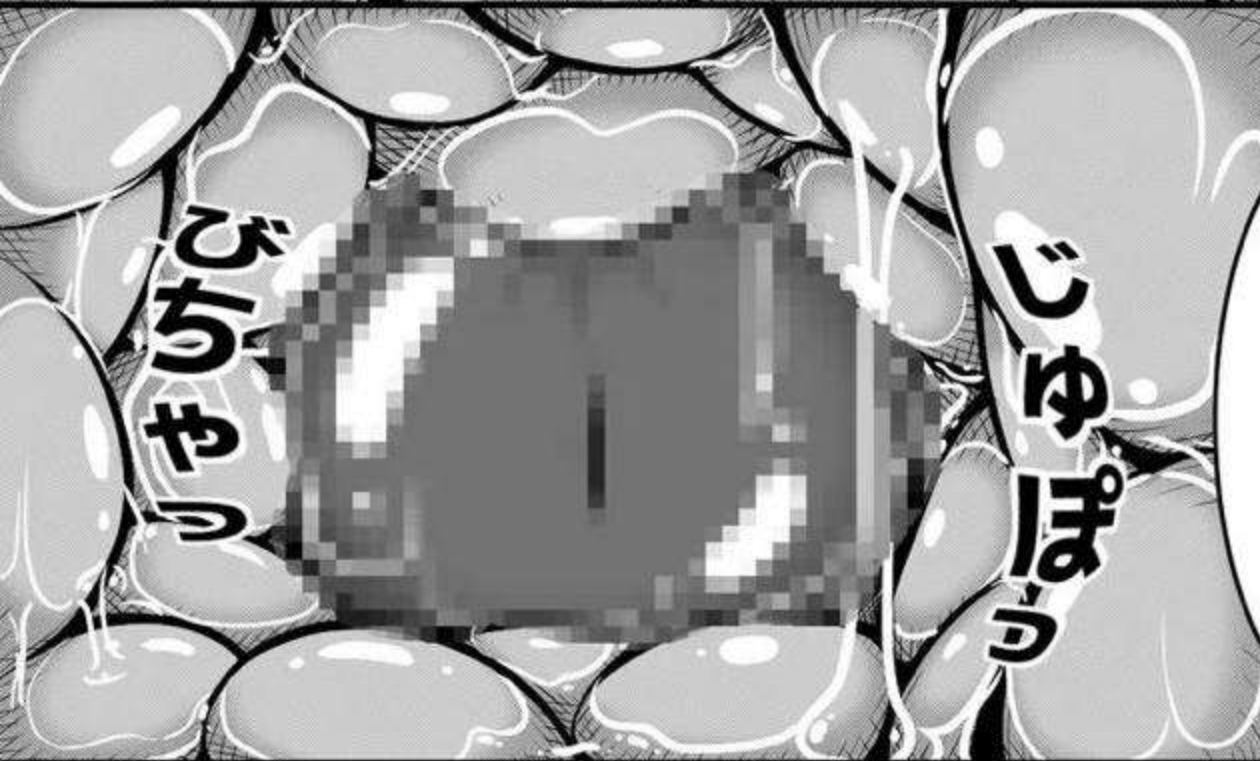


なにこれ…っ

気持ちいいだろ？

あ

あ



び
び
ちゃっ

じゅ
ぽ



それが狙い

全部それに集中
して感じてっ



やった！
見つけた！

あ

ゴ

ゴ

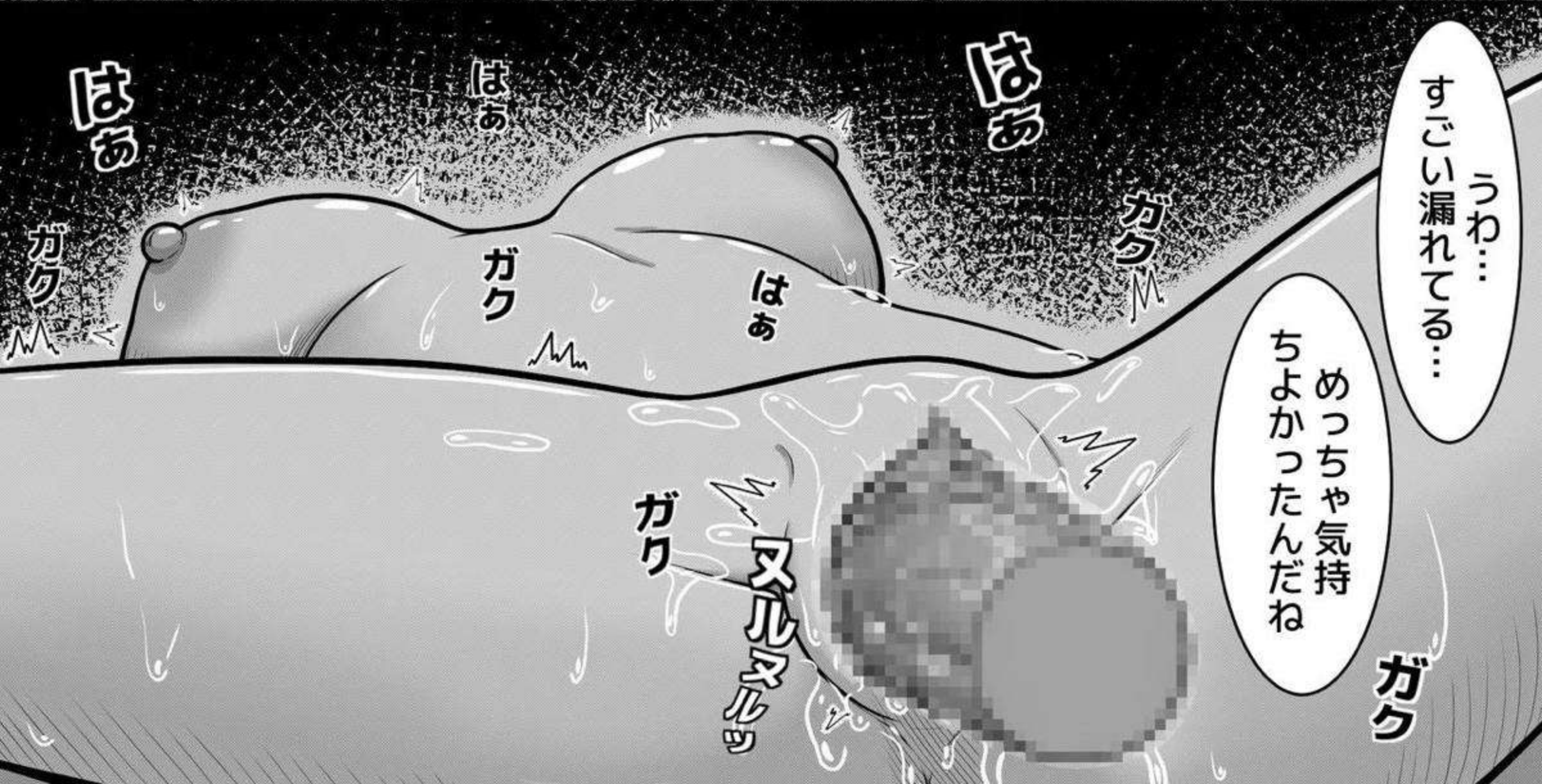
ゴ

ゴ

ん
ん











アッ!!

ドクドクッ!

ドクッ!

ガク

びゅん

ガク

ガク

アッ!!



ドクドクドク

ガク

ドクドクドク

ガク

あああつ!

あああつ!

ガク

ガク

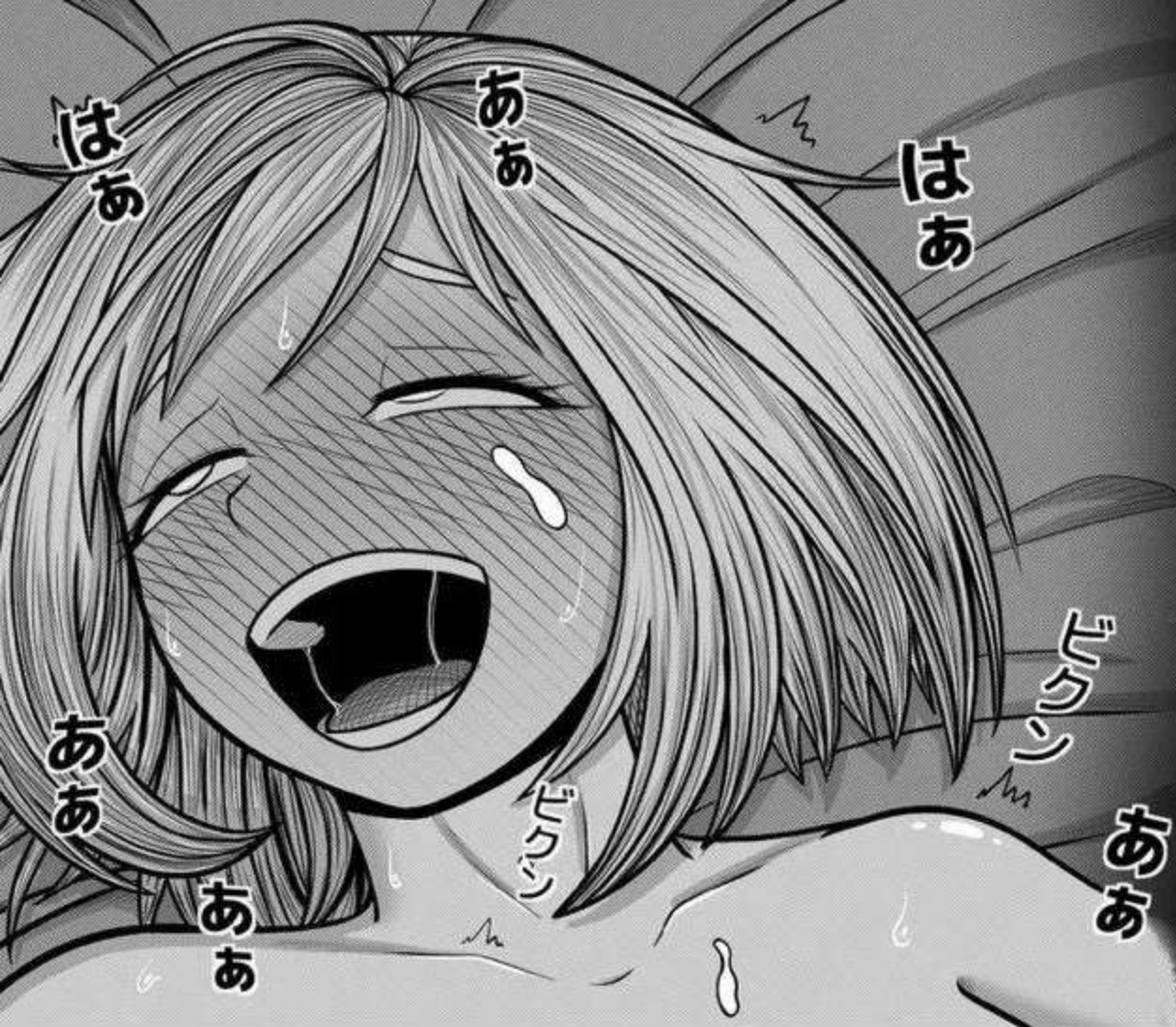
ガク

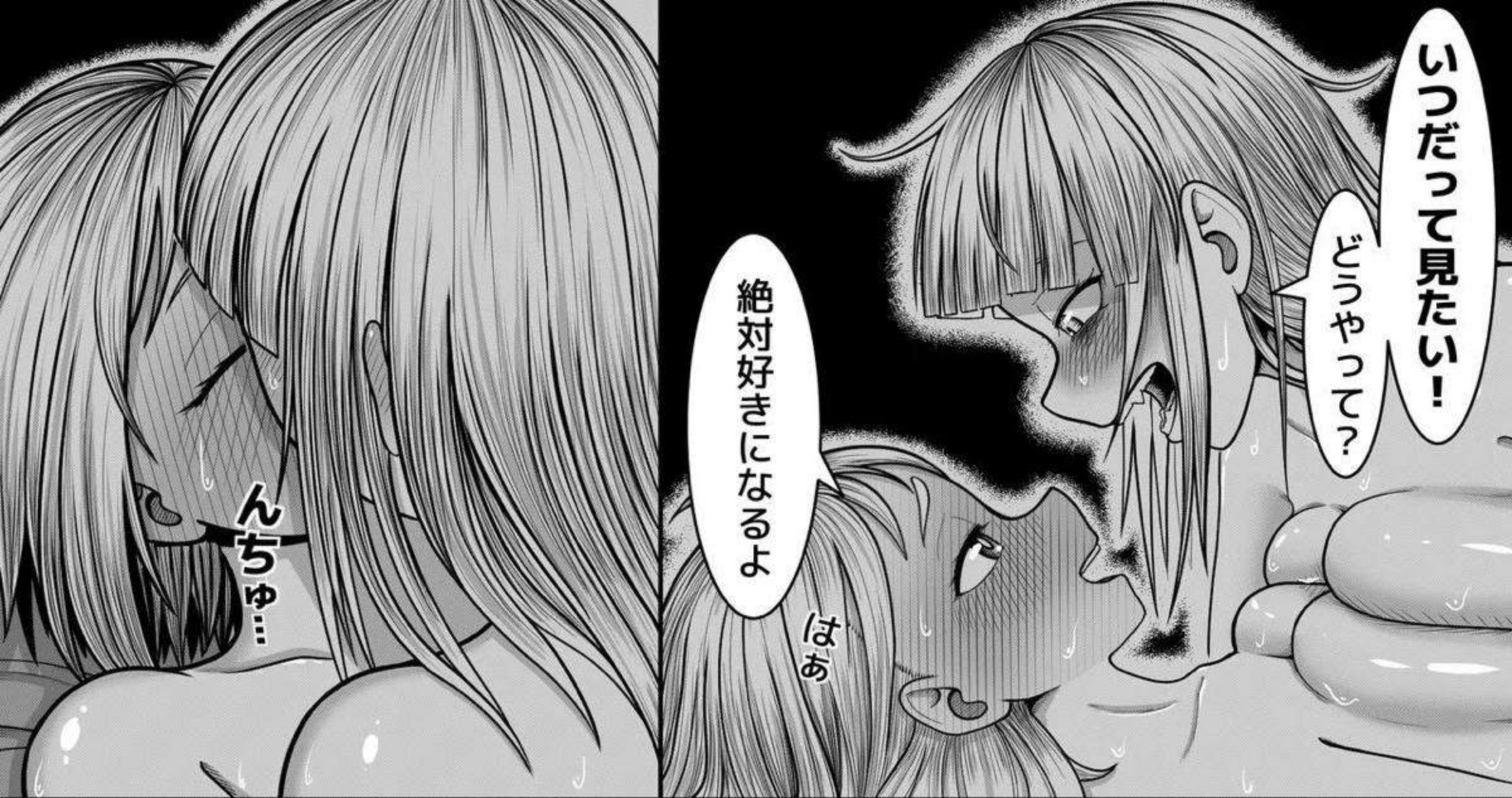
パシヤ

パシヤ

ガク

ガク











はあ

んんっ
んんっ

すす

ああ



ズンッ

ぐぽっ

じゅわっ



ああ

はあ

なんでこんなに
キツくなってるの……!?

はあ

パンッ
パンッ
パンッ
パンッ

じゅわっ
じゅわっ

ああ

奥まで
届くから……!!

はあ

はあ

ああ！

とミミコおっ！

ああ！

パン！

もっと！

もっと強くっ！

激しく突いてえっ！

ズチュッ

ズンッ！

ズチュッ

あー！

とニコおっ！

はあ

あー！

あー！

激しく突いてえっ！

もっとー！

パン！

ズチュッ

ズンッ！

ズチュッ

はあ

ああ!

ああ!

パン!

もっと!

ズチュッ

ズンッ

激しく突いてえっ!

はあ! はあ!

ああ!

とミコおっ!

激しく突いてえっ!

もっと強くっ!

もっと!

パン!

ズチュッ

ズンッ

はあ

ああ!

とミコおっ!

激しく突いてえっ!

ああ!

パン!

もっとうー!

ズチュッ

ズンッ

はあ

ああ

はあ

ああ

パン

ズチュッ

ズチュッ

はあ

ああ

はあ

ああ

パン

ズチュッ

ズチュッ

はあ

ああ

はあ

ああ

パン

ズチュッ

ズチュッ

はあ

ああ

はあ

ああ

パン

ズチュッ

ズチュッ

はあ! はあ!

ああ! ああ!

とミコおっ!

ああ!

パン!

もっと!

もっと強くっ!

ズチュッ

ズンッ

ズチュッ







あああ!!

んんん!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ねえ、お願いっ!!

妊娠してっ!!

はあ

あ

あああ!!

んんん!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ねえ、お願いっ!!

妊娠してっ!!

はあ

すす

あああ!!

んんん!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ねえ、お願いっ!!

妊娠してっ!!

はあ

すす

あああ!!

んんん!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ねえ、お願いっ!!

妊娠してっ!!

はあ

すす

あああ!!

んんん!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ねえ、お願いっ!!

妊娠してっ!!

はあ

すす

あああ!!

んんん!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ねえ、お願いっ!!

妊娠してっ!!

はあ

すず

あああ!!

んんん!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

はあ

すす

妊娠してっ!!

ねえ、お願いっ!!

ああ!!

んんん!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ねえ、お願いっ!!

妊娠してっ!!

はあ

すず

ああ!!

んんん!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ねえ、お願いっ!!

妊娠してっ!!

はあ

すず

ああ!!

んんん!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ねえ、お願いっ!!

妊娠してっ!!

はあ

すず

あああ!!

んんん!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

ズボ!!

はあ

すず

妊娠してっ!!

ねえ、お願いっ!!

ははああう！！

ズパズパ

どぶ

どぶ

ドブツッ

びちちち

びちちち

うわわわ

ム

産んでー！
私たちの子！！



お茶子…



変だよ…

あたしなんかを
好きになるなんて…

あたしの…笑顔…

変かも…
でも、どうしようもないの

あの時のあなたの
素敵な笑顔を見てから…!!



私…

…カワイイ？



世界…

いや…

私の世界…！



お茶子…
絶対に
離さない…!!

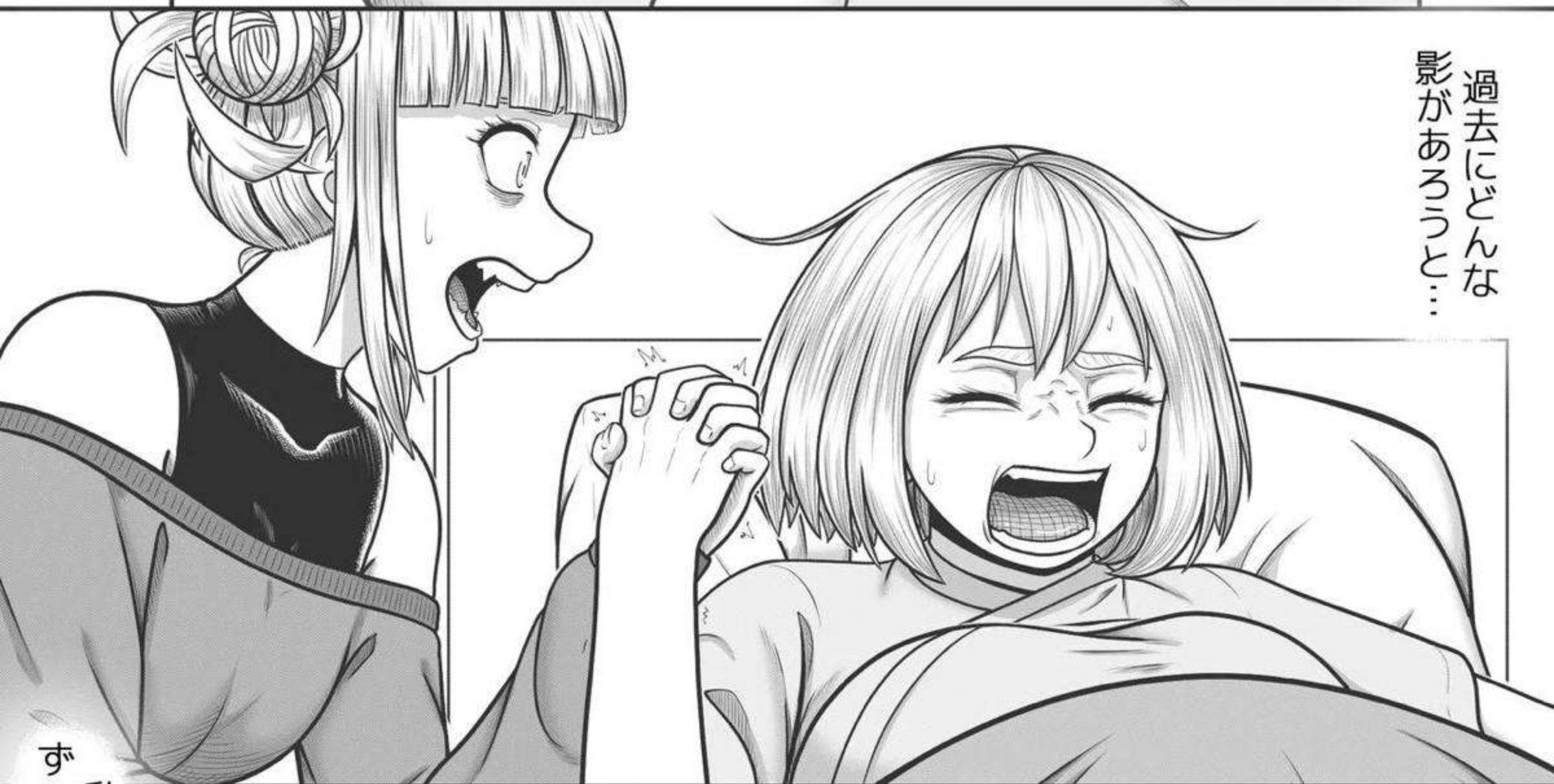
私だって
絶対に
ひとりには
させないよ!



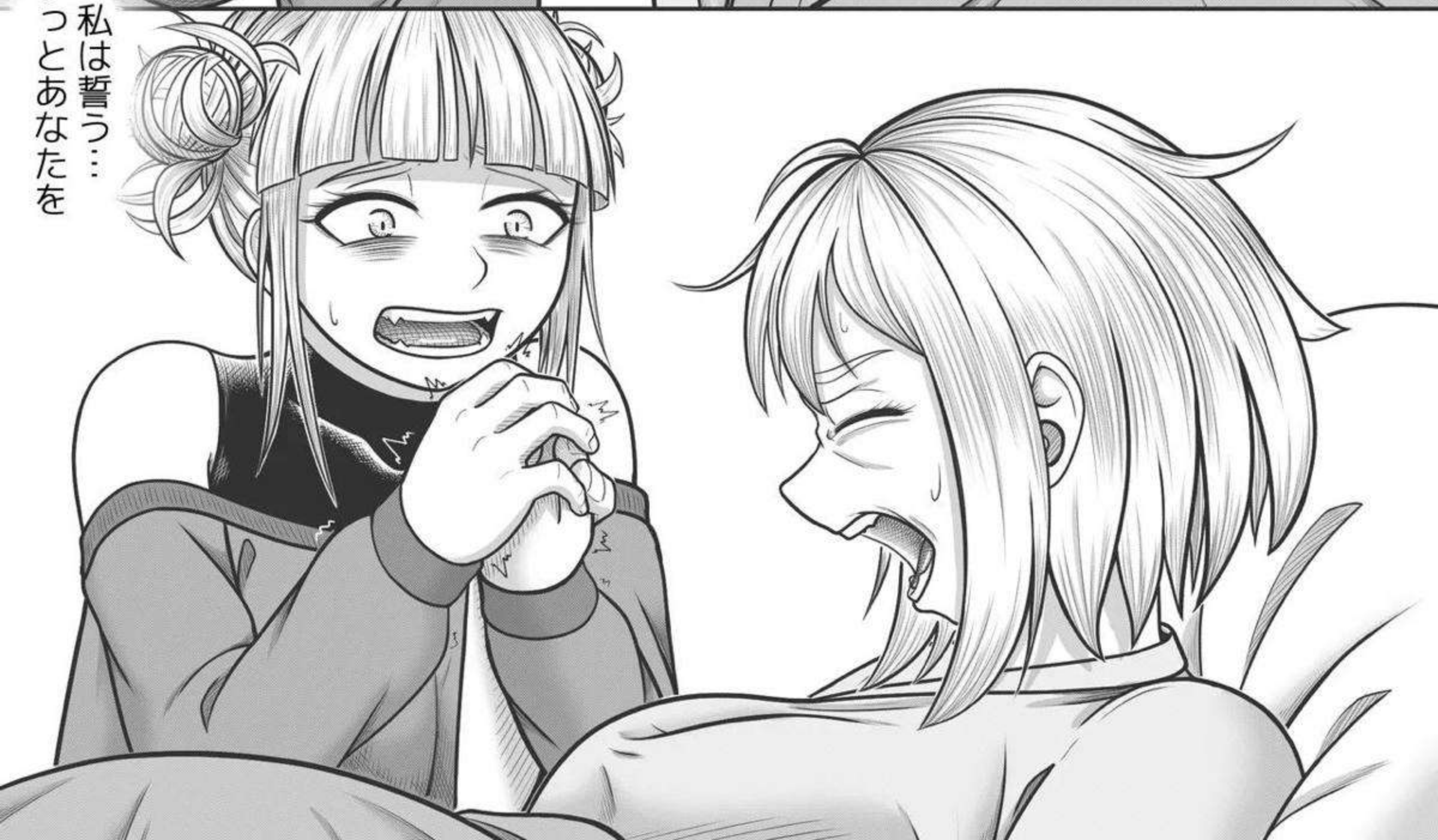
未来が
何をもたらそうと…



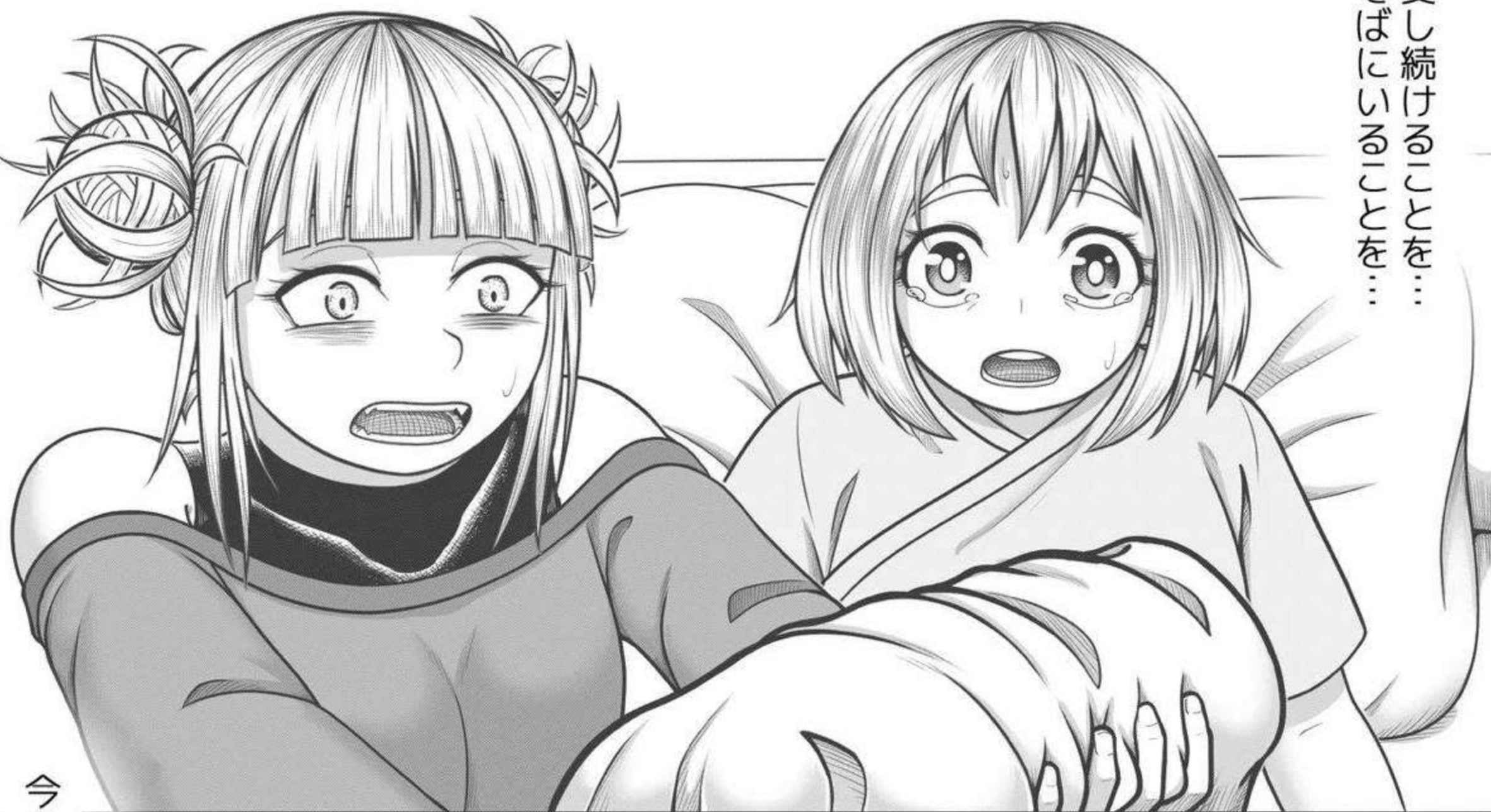
過去にどんな
影があろうと…



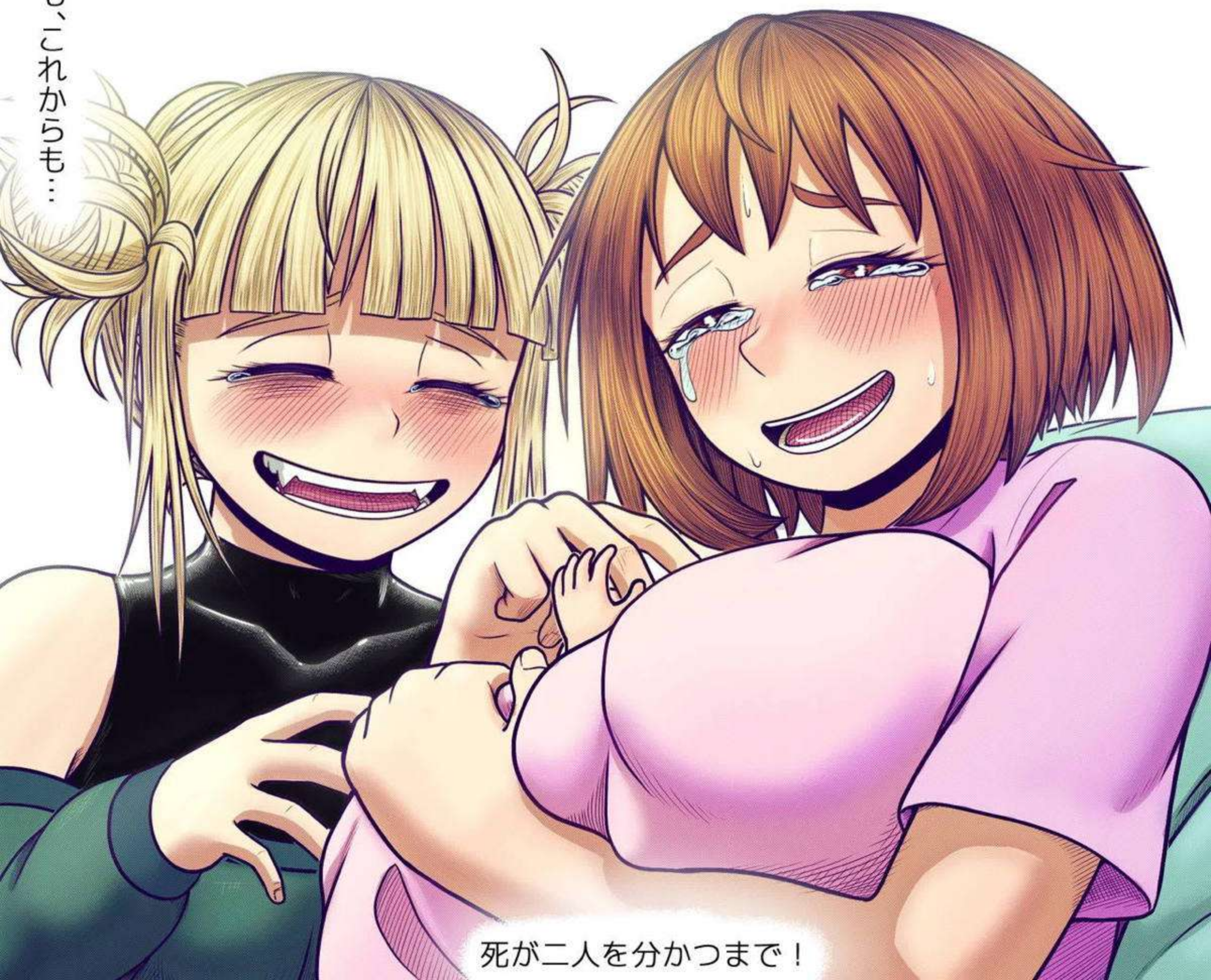
私は誓う…
ずっとあなたを



愛し続けることを…
そばにいたいことを…



今も、これからも…



死が二人を分かつまで！

皆さん、こんにちは。

読んでいただきありがとうございます。

楽しんでいただけたなら嬉しいです。

もし応援していただける場合は、

Patreon または **Fanbox** にてご支援いただけます。



ご支援いただいた方には、以下
のような特典をご用意しています：

すべてのコンテンツへの先行アクセス

次回作に関する最新情報やチラ見せ

月に一度の限定ショートストーリー

各作品ごとのボーナスページ